# 京城日報

（年中無休刊）

三日夕刊

定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 三ヶ月金壹圓六拾五錢 六ヶ月金三圓二拾錢 一ヶ年金六圓七拾錢 ▲郵稅代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別欄內一行金壹圓貳拾錢 ▲三號活字は五號活字の一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話（編輯部三四番 營業部二六四番）


時間表 （南行） （北行）

## ○伍總長と外交問題 鄭家屯事件＝老西開問題

外交總長伍廷芳氏の著任と共に第一に解決す可きは鄭家屯事件及老西開問題なるが前者は支那の回答如何にて決す可き程度に進み居るも新總長は尙多少事件の研究を必要とす可く從つて來週ならざれば交涉開始無かる可し後者は佛國代理公使と直接の交涉を望む可きも三國の調停案よりは一步も讓步し難き場合とて結局三國公使關係して結末する事となる可し（北京特電）

## ○羅國侵入の獨軍 廣大なる戰線に亙りて攻擊中

倫敦タイムス紙の記述する處に依れば獨逸マツケンゼン軍は今やブカレストより十二哩の地點よりケドテツク及びゲーミーより十八哩の地點に至る廣大なる戰線に亙りて羅馬尼軍を攻擊しつゝあり又フアルケンハイン軍はブカレストより約三十哩の地點迄進みジヤツセーモルダヴイヤ方面に進軍しつゝあるは明白なりと（倫敦電報）

## ○二大公露羅總帥たらん 大公は四十萬の大軍を率ゐて多惱河方面に決戰を試みんとす

獨逸新聞の觀測する處に依れば曩に露軍總司令官より高加索總督に左遷されたるニコライ大公は這回露羅軍總司令官に榮轉さる可く而して此事はスチユルメル氏の失脚と共に露國が汎スラブ主義の理想の完成に對する嶄新にして勇敢なる最後の決定を示すものと思惟せらる而して此決定の第一步として大公は十三軍團四十萬の大軍を率ゐて多惱河方面に對決戰を試むるに至る可しと（紐育電報）

## ○希臘軍の聯合軍對敵

希臘軍は聯合軍に對敵する爲めに集中せられつゝあり希軍と聯合軍間には已に衝突ありたり（紐育電報）

## ○希臘政府斷然拒絕す

雅典來電＝曩にフルネー提督は希臘政府に對し若し要求を容れずんば軍隊を上陸せしむ可しと威嚇せるが希臘政府は十一月三十日夜之に答へ大砲武器の引渡を斷然拒絕せり（紐育電報）

## ○希都に再び砲戰

雅典來電＝休戰協定後再び砲戰起り聯合國艦隊は雅典背後の諸丘陵を砲擊中なり（紐育電報）

## ○新任駐露大使 內田子爵を選任

露國駐在の本邦大使の後任は政府に於て熟議の結果子爵內田康哉氏を選任するに決し此旨を露國政府に通じ目下返電を待ちつゝあり右返電著次第親任式の擧行ある筈なり（東京特電）

## ○山口少將赴任

山口前鎭海要港司令官は三日朝村雨に搭乘釜山を經て任地佐世保に向へり埠頭には在鎭海官民の見送盛なりき（鎭海特電）

## ◎奉天省と警察權 承認排除の運動

先づ吉林に聲を揚げたる鄭家屯事件交涉案の警察權承認に對する反對運動は單に吉林にのみ限られたる模樣なりしに其後その反對氣勢は漸く奉天方面にも移り來り

▲重なる奉天省民 は既に第三回まで公民大會を開き『東三省は中國の領土なり其の主權の一部たる警察權を日本に從するが如きは斷じて不可なり主權擁護のため省民は飽くまで力爭せざる可らず而して中央の外交を援助せざる可らず』と決議し同時に商工農及び敎育各界より十名の代表委員を選定し其內の委員二名は中央において運動すべく既に北京に向け出發したるが

▲奉天省議會 も之と共に活動を開始し修省議會長の如き熱心運動に努め張省長に對し率省內における日本警察所の數が頗る多きに及び省城內には派出所六、憲兵隊一あり」と答へ然らば是等日本の警察機關は正式に承認せしものなる乎と問へば「然らず故に夙に抗議を提出しあり」と答へたる由にて省議會は益々その反對氣勢を高め斷じて撤廢せしめざる可らずと非常に力み居れり

▲學校敎員生徒等 が外交問題に立入り一般人民と共に騷ぎ立つるは支那の常事にして渠等は寧ろ煽動者の位置に立てる者なるが本問題に就ても奉省の敎育界は擧げてその渦中に投じ各學校生徒は例の燕趙悲歌の徒を學んで盛んに慷慨激越の演說を試み某校生徒の如き道傍演說をも爲さんと騷ぎ居り而して彼等は聯合會を組織し每校より代表を擧げ大總統、國務總理、外交部、其他に熱烈なる反對意見書を提出するなど殆ど血迷ひの姿なり

▲反對運動の裏面 に支那官憲の伏在し居ることは事實の掩ふべからざる所にして初め吉林方面に於ける反對氣勢の高きに反し奉天方面の冷淡に見ゆるしとき北京より東三省の各種事情調査を名として文武官吏の來滿するあり而かも是等の人々が公民大會にも省議會にも參會し猶ほ裏面に在りて運動を試みつゝある形跡に徵し中央北京との間に一脈の通じ居れるを知るに難からず老西開事件に味を占めたる支那政府及び國民は鄭家屯事件にも此の筆鋒を適用して警察權承認問題を葬り去らん魂膽なるべしとの說あり

▲張省長の態度 は相變らず不明を極め表面鎭撫に努め居るが如きも裏面必ずしも然らざるか如き模樣もあり省議會や公民大會の運動に對しては何等手を盡さゞる有樣なるが最近瀋陽信託公司錢業公所の仲買人を例の金融攪亂の名の下に檢擧したるが如き實は之に關係せる日本商人を驅逐せん手段なりとの流說もあり張將軍の身邊兎角の批難あるは惜むべきなり（大連）

## ◎大豆特定運賃均霑 多年の問題解決＝各地當業者の滿足

鐵道局の對共益社大豆特定割引運賃の撤廢若くば均霑に關する各地穀類業者の要望運動は數年來續けられ最近仁川元山鎭南浦各地より鐵道局に向け熱心なる交涉あり結局鐵道局は該特定運賃制たる大豆移出奬勵の主旨より出でしものに付之れが撤廢は當局として肯んぜず但し共益社同樣の責任數量乃ち一萬噸以上內地に積み出さば其の運賃率も何等の差隔なく引下ぐべしと云ふに局議一致せしもさりとて各地商人中一個人にして共益社同樣大豆を一萬噸以上の內地移出を取扱ふ事は諸種の關係上困難の事情あり故に鐵道局は特定運賃の制定を個人ならずとも組合若くば一代表者を定め其の組合又は代表者に對し契約するも不可なしとする方針を持せしに付爾來各地商人は交互諸種の凝議を盡し又鐵道局との間には諸般の往復交涉を費やせし末二日午後一時仁川鎭南浦京城元山各地穀類業者は鐵道局に會合し三本理事安藤參事等と最後の相談をなせし結果大要左の如く決定四日より實行する事となれり

△特定運賃契約者 株式會社京城、仁川、鎭南浦、元山の各支店とす

△出荷區域 京釜線天安驛以北新義州永興までの間

△特定運賃均霑者 特定運賃に均霑せんとする商人は各自前記四通運支店との間に其の責任數量を契約し相當額の保證金を提供し契約する事

乃ち各地の多數穀物商は通運會社を代表者とし其の特定割引運賃に均霑するものにて殆んど沿線大部の商人を網羅する事となり事實は運賃大割引の結果と選ぶ所なきもの丶如く尙ほ大豆特定運賃は普通運賃に比し約三割强の低廉となり居るに付今後各地よりの鮮豆の移出は採算容易となり一層の進展を見るべく各地商人も頗る滿足し居れりと

## □嶺南巡り 再度晉州より 鯨洋

都市としての晉州の誇るべきは、其の玄關口にあり。其の堂々たる觀望と云はんよりも、其の光風の古雅なる點に於て、先づ他所に求むべからざる處あり。乃ち滔々たる、南江の大流は、商古清澄、帶の如く繞り、飛鳳山は屛風に似て、矗石山は江を壓し、夕陽に丹色鮮なる、矗石樓は、百尺の大岩上に屹然たり。遙に二府二十七郡の採題所たる、道廳の棟居は、巍然として寒天に聳ゆ。其の眺望の雄大、行人をして、思はず佇立、飄削貪望飽くなからしむ。地を相するに、昔時晉州城が、敵攻不落、眞に天下稀に見るの、堅城なりと稱せられしも、決して空言ならざるを知る。萬景山上斜陽に立てば、憶ひ起す文祿慶長の昔。都城の一朝、戰雲を閉し殺氣南江を掩ひ、我討明の勇士が馳突せし、鐵跡の、印跡や奈何。爰に雲を凌げる高樓もありつらん、彼所に天を摩す堅砦の如何に嶄然たりしか。往時茫々夢の如く、星霜茲に三百有餘年、猛鬪苦戰、我軍が此の堅城を屠りたるは、月こそ違へ、小生が晉州入りをなせしと同じ二十八日なりき。而も小生が祖先、軍に從ふて、亦此の役に參したるは、小生が幼少の時より數々挿耳にも聞き知る處なり。今其の戰跡に立て、感慨無量、低徊去るを忘る。仰げば矗樓の杪上、寒風陰り、烏鵲友を呼ぶか、頻りに鳴くあるを聞く。

## ◎釜山滯貨と倉庫

鐵道局にては沿線穀類其他の出廻旺盛にて其の內地行き貨物を關釜連絡船の輸送力以上釜山に輸送する必要あり結局釜山に一層の倉庫設備を行ふ事となり二日釜山倉庫會社の倉庫一棟を借入れたり

## ◎坂神第一回出穀

朝鮮郵船會社の臨時阪神直航第一回船咸鏡丸は二日午前十一時長崎より釜山に入港豫定の如く穀物七百噸（八千四百叺）を搭載し午後十一時出帆せり（釜山）

## ◎穀類業者懇親宴

大豆運賃問題解決等の爲め仁川沙里院鎭南浦元山各地穀類業者多數の入京せるを機とし二日午後六時より三井物產支店等發起となり千代本に懇親的の宴を張りしが小原長官三本鐵道川上東拓木村鮮銀各理事安藤參事其他主客約廿名列席し朝鮮財界の問題に對し各自懇談をなし九時過ぎ散會せり

## ◎道長官新任披露

藤川平北道長官は去る三十日午後六時より新義州縣新舘に於て新義州安東縣の主なる官民五十餘名を招待して新任披露の宴を張りたるが席上長官の新任挨拶あり齋藤營林廠長來賓一同を代表して謝辭を述べ酒宴に移り盛會なりき（新義州）

## ◎道長官歡迎會

新義州安東縣在住重立たる官民五十餘名は一日午後七時より新義州縣新舘に新任藤川平北長官を招待し歡迎會を開催したるが席定まるや深川府尹歡迎の辭を述べ長官の謝辭あり宴に移り午後十時散會せり（新義州）

## ◎露貨

日滿貨物連絡運賃引換へ代金換算率は東滿及び烏蘇里鐵道に於て十一月二十九日以降當分の間百圓に付き百七十五留の率に依る旨鐵道院に通知ありたり

## 仁川

▲平田鑑定官補出張 稅關の同氏は來る四日頃大阪神戶門司若松等各地を視察の爲め出張の筈

▲性相學講演會 仁川の上仁川俱樂部に於て本修平氏は二日午後六時より性相學講演會を開催する由

▲米穀檢查成績 仁川穀物協會に於ける十一月下半旬中の米穀檢查成績を聞くに玄米は檢查總數九千百四十三石中優等百三十一石上格百八十二石下格八千七百八十九石にして不合格四十石中白米は總數六百七十十六石中上格十五石下格六百二十石にして不合格四十一石なりと

▲上半旬米穀輸出高 仁川港より本月十六日以降三十日迄に輸出したる米は九千百二石にして仕向地は大阪なりと然して本年一月以降の累計に依れば大阪七萬六千石、神戶八百石大連二千五百石其他にして合計八萬千九百六十石に達せり

## 群山

▲敎室增築 群山尋常高等小學校に於ては就學兒童の增加と共に合校の狹隘を感じつゝありしが近々學校組合會を開催し增築問題を附議する豫定なり

▲金堤米向上 金堤地方より金堤米檢查出張所の檢查を經て群山に移送せられたる米穀は十月中旬頃迄は乾燥不良の爲め青米死米の混入ありて市場取引は群山檢米に比し二十錢方の格下せられたるも爾來生產者は乾燥調製に嚴密の注意を拂ふに至りたるを以て忽ち價格は向上せられ現に市場取引價格に於て何等逕庭なしと

## 木浦

▲十一月當港貿易 十一月中の當港貿易額は輸移出十七萬三千四百三十一圓輸移入額は二十萬七千九百十二圓合計三十八萬一千三百四十三圓にして之れを昨年の同期に比すれば輸移入は五萬千二百二十圓を增加したるも輸移出に於ては棉花の廻著遲延と船腹不足の爲め米穀の輸移出少なき爲め四十二萬零三百四十一圓の大減少なりと

▲府協議會 第九回府協議會は兩三四日中に開催牛皮乾燥場經營及びこれに伴ふ使用料條例を附議すべし

▲組合出納檢查 當學校組合第二回會計檢查は二十九日午前八時稻田伴兩委員に於て施行したるが成績良好なりしと

▲那須校長記念品 當學校次席訓導より康津普校長に榮轉せし那須辰夫氏に贈呈する記念品は申込者百三名の多數に達したるを以て美事なる置時計一個を贈呈せりと

▲停滯貨物 當地に於ける移出停滯貨物は益々其數量を增加し目下大阪方面の注文に依り既に買込濟の儘輸送し得ず空しく堆積し居るもの玄米に換算し約三萬叺なるが尙ほ逐日增加の一方にて現狀の儘推移するときは年末繁忙の金融期に入り非常なる苦境に陷るべしと

▲船腹問題協議 當地米穀商諸氏は三十日藤井邸に會合し臨時船廻航及び運賃率に付種々協議を遂げ大阪商船鈴木支店長の來席を乞ひ互に意見を交換し熟議を遂げたる結果兩者の意思近接したるを以て滯貨問題も近く解決すべし

## 元山

▲大豆檢查問題と元山 昨今元山輸移出界に於て一問題となれる大豆檢查の件に就き元山商業會議所にては去る二十九日開催したる評議員會には市內當業者中主なるものも列席審議の結果會議所議員中より一名を委員として選びこれに當業者側より一名同行の上咸南道廳に對し大豆檢查規則の改正若くば施行延期の請願をなすべく決し十二月一日委員會を催し右陳情委員の詮衡を圖りたるも協議遂に纏らずして空しく散會したりと而して同日元山當業者中主なるもの數名は午後村地府尹を訪問し施行延期請願書の進達を請ひ且つ該問題に對する當局者としての意見を求むるところありたるが更に當業者側に在りては高尾新右衛門氏を代表者として道廳に對し陳情する事となり同氏は二日北行の昌平丸にて出發せり

▲入營兵著 來る五日元山に入港の豫定なる步兵第七十四聯隊新入營兵は合計八百六十二名にして內二百十六名は元山大隊に入るべく他は悉く新浦西湖津の兩港に上陸し咸興其他に入營の筈なるが右に就き咸興より聯隊長來元の上元山入營者に對し入營式を行ふべしと尙ほ前記二百十六名中の一部は無論陽德分遣隊に派遣さるゝを以て之れが受領の爲來る五日同隊よりは片岡中尉及田川軍醫來元の由

## ◎統營より 農水產品評會開催

慶尙南道統營郡は半島及び諸島嶼より成り由來耕地に乏しきを以て勢ひ漁業方面の發達を致したり左れど朝鮮人住民の大部分は依然農業を本位とし海濱溪谷苟も耕耘に便なる所鍬の入らざるなき有樣にて近來郡の指導に依り水稻麥等改良種の普及及び農具の改善其實を擧げつゝあり其水產物に至りては沿岸は屈曲參差甚だしく天然的良漁場及び漁港に富み且潮流の關係極めて良好なるを以て魚族の棲息に適し近海に於て無盡藏の富源を有する事他に其比を見ざるなり因つて本郡の水產を以て生命とする亦宜なりと云ふべしされば內地漁業者の如き往昔より近海に來往漁撈に從事し日鮮干係の密接を加ふるに從ひ彌々其數を增加し沿岸は先之等通漁者の手に依つて開拓され移住漁村の創設となり現今移住漁村としては成績良好なるもの實に九箇村を數ふるに至れり郡內水產業者は鮮人約五百戶（五千人）內地人約六百戶（二千人）此外內地人通漁者一萬人に達して其漁獲高實に二百七十萬圓の多きを算す加之漁具漁法の改良著々として進み他の模範と爲すに足れり而して之等漁場の中心點に在るは統營港にして漁業者の需要品を供給すると共に漁獲物の處理販賣機關の設備整頓し鮮魚に干鹽魚に近きは釜山、馬山遠くは內地、滿洲、支那、臺灣近時南洋、哈爾賓等に直輸出を爲すものあるに至り本郡水產界の前途益々多望なる秋に際し本月一日より七日間統營港に於て統營固城二郡聯合農水產物品評會を開催し市中の賑ひも亦中々盛んなり水產業者並に水產に志すの人士は一度觀覽の價値あるものとす其會期中の擧行事項を示せば

▲一日午前十一時品評會開會式▲三日午前十時白日場▲三日午前十時敎育品展覽會▲四日午前十時赤獎統營委員部秋期會▲五日午前十時統營郡內學校長及び學校組合管理者會▲六日午前十時品評會褒狀授與式▲六日正午十二時園遊會▲七日午後一時品評會閉會式▲七日統營神社上棟式擧行

## 人事消息

▲三宅驥吉氏（平壤稅關長技師） 三日朝退京
▲向井巖氏（平壤覆審法院檢事長） 三日夜退京の筈
▲大橋次郎氏（赤十字社主事） 東京に於ける赤十字社主事會議列席の爲め四日朝發東上
▲阪本樂逆獸醫兵分隊長 二日夜入京荒井旅館へ
▲笠井工學博士 入京中の所三日朝內地へ
▲ペイカー氏（奉天駐在米國領事） 二日夜內地より奉天へ通過


## 商業登記公告

株式會社漢湖農工銀行ハ大正五年拾壹月貳拾日江原道春川郡府內面大板里ノ支店ヲ江原道春川郡內面安仙里ニ移轉シタリ
右大正五年十一月三十日登記
京城地方法院 開城支廳

## 解傭廣告

藤延友吉
右者不都合の廉有之解傭致し候に付今後當店に何等の關係無之候
大正五年十二月三日
佐野彥商店

## 年末年始贈答品新荷着

▲漆器、銳臺、針箱、衣桁、花臺、碁將棋盤、神佛具、柳行李、荒物其他各種、家具類 卸小賣
釜山辨天町二 電話一〇六番 ㊎丸金家具店

## 山路愛山著 新刊發賣 支那論

四六版三百卅頁 定價六十錢 郵稅六錢
支那の將來は如何。是れ何人も知らんと欲する所にして、何人も未だ明に語る能はざる所に非ずや。著者、袁世凱歿後の支那が紛々擾々として其の形勢を揣る可からざるを見、世界に於ける日本國民の立場に立ちて、得意の史筆を揮ひて現代支那の形勢を縱横評論したるもの、即ち本書也。是れ眞に支那の眞相を解する可き唯一無二の指針にして併せて其の將來をトすべき評論中の最好評と云ふ可し。
發行所 東京京橋區日吉町 民友社
賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報代理部 電話六〇番 振替京城二〇〇番

## 質

多年御信用厚き弊店は今般市區改正に付改築と共に堅固なる煉瓦倉庫を新設一層勉强安全確實に御預り申上候
木町三丁目通りより新設大道路に入りて北へ約卅間西側小路
京城本町三丁目三十番地 田村質店 電話一八四番

## 新刊書御案內

| 書名 | 著者 | 定價 |
|---|---|---|
| 悟道の妙味 | 釋宗演 | 九〇 |
| 處世修養 | 上總亨 | 一、八〇 |
| 實驗蔬菜園藝 | 下川義治 | 一、八〇 |
| 日本美術史講話 | 黑田鵬心 | 特一、〇〇 |
| 米國研究 | 敎育學術研究會編 | 一、〇〇 |
| 不景氣に打勝つ最新經營方法 | 瀨川光 | 一、〇〇 |
| 日支併合論 | 李春植 | 九〇 |
| 現代に處すべき克己と勤儉 | 桃山彬 | 五〇 |
| 果樹栽培指針 | 農學會編 | 三五 |
| 猶太神話 | 高瀨俊郎 | 一、二〇 |
| 演說と文章 | 大日本雄辯會編 | 一、三〇 |
| 木堂清話 | 犬養毅 | 一、〇〇 |
| 修養十二ヶ月 | 菅原洞齋 | 一、二〇 |
| 町の兄弟 | 中島與之助 | 九〇 |
| チヤプリン君 | 神谷竹之助 | 四〇 |
| ヴアイオリン譜 | 秋長景月 | 四〇 |
| 五十音引辭書日記 | 山川均 | 六〇 |
| ペン手紙と葉書の書方 | 黑柳勳 | 八五 |
| 大增補ペン習字帖 | 同 | 三〇 |

京城本町二丁目二八 振替二七三番 大阪屋號書店

# 御料の色紙を召す

## 朝鮮總督府中央試驗所の光榮

### 白、紫、綠、黃、青、紅とりぐに

總督府中央試驗所にては本年の春朝鮮產の原料を以て製造したる色紙數葉を宮内省に獻納して畏き邊の御料にも供し參らせたりと拜聞したるが幸にも同色紙は陛下の思召に叶ひたりと思しく

### 今回更に御歌所々長入江爲守子より

兒玉内閣書記官長の手を經て白、紫、綠各十五枚、黃、青、紅各五枚の色紙獻納方を命せられたり傳習所にては陛下が朝鮮物產御奬勵の畏き垂旨に感激すると同時に如斯御料品の調進を仰付けられたるは最も光榮なりとし同場の更田技師監督の下に職工李泰燮謹製の任に當り居り兩三日中には全部の調製を終へ十日頃總督府の手を經て宮内省へ獻納する筈となり居れり其色紙は檀紙と稱し普通の色紙六枚分を合せたる大型のものにて

### 目下の處内地製紙工場が到底注文に

應じ得られざる際朝鮮にては單に原料の豐富なるのみならず一時に巨額の注文も引受くることを得るの便利あれば今後共或は引續き御料紙としての獻納を仰付けらるゝやも知れずとのことなり色紙の製造は普通の製紙に比し非常なる技倆を有するものにして色合の具合殊に困難なりとせられ居たるも今回の分は紙質、著色共に優等のものを製出し得たるは最も幸なりと豐永所長は語り居たり、尙ほ右の色紙につき

### 寺内前總督が某氏に語りたりと云ふ

を聽聞するに奈良の正倉院内に御物として秘藏されある千數百年前の色紙と今日工業傳習所にて製造さるゝものとは紙質、色合共に匣比の差なきを見れば或は前記正倉院の色紙は往時の朝鮮より日本に輸入又は貢したるものにあらずやとのことなり

# 女も子供も戰に

## 將來の戰爭 在鄕軍人の戰鬪力

=秋山軍司令官車中談=

九州特別大演習の大本營に於て光榮ある陸軍大將に親任された秋山軍司令官は三日の午前八時四十分一箇月ぶりに龍山に歸つた、おく稍白き京釜線の成歡驛から一等室の寢臺に敬意を表すれば將軍は疾くのむかしから御眠覺めとあつて陸軍大將の

◇肩章が燦然として

輝く『這回の演習は九州の特別大演習といひ千葉縣の師團對抗演習といひ何れも戰鬪が尠なくして主に行軍宿營といふやうなことが試みられたやうである、それに飛行機の偵察とか自動車の輸送なども新らしい試驗と云ふべきである、殊に九州では騎兵の支援隊を軍用自動車を以て急派し且つ軍司令部の移動もそれにより千葉縣に於ては糧食輸送にも自動車を用ゐたやうである、また大演習のやり方を見ても最初の第一日は兩軍共に

◇行軍々規と行軍力

を試み第二日に於て銃劍相見ゆるの遭遇戰となり更に第三日に於て新聞などの謂ゆる塹壕戰となつて居る、此の日は兩軍が防禦陣地、攻擊陣地の構成に努めて必死となつて奮鬪した日で從來に比して犧牲が多くなつたのは歐羅巴戰爭に鑑みた結果である、猶ほ兵の行軍力は九州、千葉兩地共頗る強く一日十五六里を踏破して遁留者無きは大に意を强うするに足るのである併し千葉に於ては豫後備兵一箇聯隊を召集して

◇其の戰鬪力を試み

たのであるがこれには大に落伍者を生じて遺憾であつた、這は實に在鄕軍人體力の問題であるが希くは今後益々在鄕軍人の戰鬪力を旺盛にしたいものである、現時の歐洲大戰亂に觀るも將來の戰爭は國民全部を以て當るは愚か山川國土を擧げて鬪はねばならぬ狀態に在る、將來の戰爭は强國が弱國を倂合するに伴ひ益々擴大して來る、これを思ふと男子全部の國軍が銃を把つて起つは勿論婦人子供までも後方勤務及び

◇軍需品製造に從事

すべき秋が來るであらう、されば國民の男女を問はず其の德性、元氣、體力を涵養せなければならぬとは誰れもが心得ねばならぬことである、畏れ多きことながら大元帥陛下には此の點に就いては特に大御心を注がせ給うて居られる、彼の鳥栖小學校の伊吹き御假營に深夜隙間洩る風さへ厭はせ給はず在鄕軍人に特に拜謁を賜ふなど陛下の國軍に待たせらるゝところ頗る多きを拜察し奉るのである……』と將軍は更に話頭を轉じて大山元帥の近情に及び『俺も滿洲軍總司令部では度々元帥に逢つたものぢやよ、平素は

◇元氣な人ぢやから

其の間回復せらるゝぢやらう、元帥も鳥栖の小學校に泊つた頃から病氣のやうぢやつた……』其處へ東京で印刷された新らしい陸軍大將と刷つた名刺が運ばれる、將軍は敷島と仁丹とを喫みわけながら『ウム、これなら好からう』『何うも内地の鬱陶しい天氣から朝鮮の晴やかな天氣を見ると心持がよいなう、釜山からの各驛とも停車場に貨物の山積されたのは何うしたことぢや』と窓外を望まれる間

◇汽車は龍山驛に著

いた、プラットフォームには昌德宮、德壽宮、李堈公、李埈公の代理武官から立花、白水兩將軍以下の出迎へ將校で觀光帽影參差たる光景、それに李完用伯などの朝鮮貴族もあつた將軍はヤア〳〵と握手を交しながら『東京は雨ばかりぢや、併しこちらは寒いなう……』

# 大山公、重態に陷る

## 二日午後九時發表=食物を攝取せず

前日來稍小康を得たる大山公の病狀は二日午前中には症狀に格別の變化なく午後三時頃迄は同樣の狀態を持續したるが午後九時に發表せられたる處に據れば體溫降く脈搏多くして呼吸烈しく頗る懸念す可き狀態にあり午後五時半攝取せるスープ百五十瓦は全部吐出し小西、合田、章の三國手は病床に詰切り少なからず心配の狀態にあり(東京特電)

# 清本特務曹長

## 腦溢血にて逝く

多年警務總監部に在り特別勤務に勵精幾多の功勞ありたる憲兵特務曹長從七位勳六等清本熊藏氏は三日午前一時腦溢血にて逝去せり氏は本春來尿毒症のため飮酒を控へ居たるが二日夜旭町某家の宴席に招かれ席上突然發病し直ちに鶴田松岡兩醫師の診察をうけ三日午前一時病軀を旭町二丁目憲兵隊官舍なる同家に舁ぎ入るゝや間もなく絕命せり享年五十四歲氏は熊本縣の人、遺族は夫人[illegible]子(一)長男正雄(三)長女春子(二)の他二男三女あり葬式は五日午後四時長沙洞妙心寺にて取り行ふ可しと

## △老練精勵の人 山形憲兵大佐談

故人は老練精勵稀に見るところで職務上の成績を擧げたことが尠くない何でも明治十八年に近衞の步兵聯隊に入營し廿一年に憲兵に轉科し卅八年に特務曹長に累進し大正元年十一月後備になりそのまゝ就職してゐたが昨年三月軍籍を退いた後は朝鮮憲兵隊司令部の囑託として矢張り特別勤務に從事してゐた故人は初め熊本久留米等の憲兵隊に勤務し二十二年福岡縣三池炭坑の暴動の際なども東京憲兵隊に轉じ特務曹長となつて京城へ派遣されたが特別勤務を命ぜられてからは例の四十年の露探事件などに携はつて拔群の功績を擧げ私共が四十年に朝鮮へ來た時に明石將軍からお話が出て當時は朝鮮の狀態が多かつたところから懇望されて東京憲兵隊から轉じて來たので以後十年一日の如く特別勤務に從ひ大小の事件に就いて功績が尠くなかつた今突然其計を聞くのは誠に惜しむべきことである

# 佛の罰は覿面

去月三十日の午前六時頃釜山大廳町智恩寺の住職稻田和尙が讀經の爲め本堂に入らんとせしに風體怪しき一人の男が四邊見廻はし人無きを幸ひ傍の柱に掛けありし賽錢箱を外したるより寺男と共に直ちに取押へ釜山署に突き出したるが此奴は山口縣玖珂郡和木村大字和木當時住所不定兒玉數憲(二[illegible])と云ふ者にて參詣に扮しては早朝寺院に入り賽錢箱より賽錢を竊取する事を專門とし十月中旬より十一月末までに西町東本願寺龍頭山稻荷神社土城町金光教等至る所の寺院にて同樣の手段を講じ少なからぬ金錢を盜みたる由(釜山)

# 生芋、を嚙つて 山中の生活

## 阪神を騷したる殺人狂入江三郎捕はる

本年四月師匠なる彫刻師宮田龍民外一名を殺害し精神病者として座敷牢内に監禁せられ居たる兵庫縣武庫郡西灘村字河原村石田中之助甥入江三郎(三五)が去月七日夜

### 嚴重なる柵を

破りて飛び出し同夜十時頃神戸市に現はれ十時四十分頃同市山本通一丁目一宮神社上手に於いて[illegible]神戸市加納町四丁目[illegible]原はる(二十一)が情夫菅原貞次郎(三十)と相伴ひ來れるを矢庭に慘殺し貞次郎に重傷を負はしめ引續き同夜山本通一丁目支那歸化人松見清内にて同市楠町通四丁目貸座敷ぶんや女將内記[illegible]内緣の妻倉ふさ(二十一)を慘殺し同十日午後三時より四時迄の間に神戸市外步野村氷室神社[illegible]す(四十五)を殺害して逃走したる大事件に對し所轄署は云ふに及ばず兵庫縣警察部は總出にて徹夜市内附近山中を大探査したるも杳として其跡をくらまし出沒自在に人心をおびやかし爲めに阪神間の人心は恟々たるものありしが遂に去月三十日大阪府下中河内郡長瀨村にて所轄八尾署の爲めに逮捕されたり今逮捕に到る

### 其筋の苦心談

を聞くに三郎が神戸を逃走して大阪に入り込める形跡ありとの說出づるや大阪警察署にては前後十七回に渡る嚴命を下して全府下の非常警戒を行ひ新妻警察部長木村刑事課長以下警官一同徹宵の勢ひにて搜索したるも一向手がかりを得ざる中突如去月三十日午後八時頃中河内郡長瀨村に怪しき男徘徊せるを認めたれば直ちに警察署員は青年會消防隊と力を合せて長瀨村一帶を包圍して遂に逮捕し午後十時本署に連行して木村刑事課長宮本八尾署長等が之れを取調べたるに愈々入江三郎なること及び神戸にての殺傷四名は皆自分の行ゐなることを自白し現行の模樣逃走の經過等も一々之れを述べたるが一見狂人らしき[illegible]といふ所によれば犯行後六甲山に入り一週間を過し其間常に畑に出で半大根を掘りて餘命をつなぎそれより西宮尼ヶ崎を經て去月十三日大阪へ入り市電切符賣所の箱の中[illegible]等にて夜を明したるものにて甘く市内の警戒線を突破して二十八日には河内[illegible]に至り三十日長瀨村に至りし所を捕はれしものなり此間三郎は常に生大根等を食ひ居たるも[illegible]一見神經質なることを認め得べきが逮捕後飯を與へしに『アヽ旨い旨い』と云ひて喜び直ちに箸を取りて

### 感謝の二字を

半紙二葉に認め木村刑事課長宮本八尾署長に送りたりついで十二月一日午前七時頃警官に護られ自動車にて大阪警察本部に送られ同午後十二時十五分神戸より受取りに來れる縣警察部長遠藤刑事課長及び木村刑事課長以下刑事巡査の護衞物々しく自動車にて梅田驛に至り一時五分發列車にて神戸に送られたり此途々見物人は到る處黑山の如くワイ〳〵と騷ぎ居たり(大阪)

護送中の入江三郎

# 平壤の浮浪者狩

平壤警察署に於ては十一月三十日拂曉署員全部出動して平壤市中の宿屋料理屋飮食店酒幕空屋其他浮浪者の集合する箇所等を一齊に襲擊し午前九時迄に百卅餘名の浮浪者を檢擧せり(平壤)

# 新義州の大雪

新義州地方にては去月三十日午後十時頃より降雪あり一日午前十時迄に約六寸の積雪を見るに至れり寒氣頓に加はれり(安東縣)

# 旅人から强奪

江原道平康郡木田面三梁里居住の僧侶李昌權(三一)は外三名と共謀し十月六日午後七時頃京畿道抱川郡靑山面紙洞の坂道にて通行人を待ち居る内通り蒐りたる同面擧洞里尹禎を引き捕へ棍棒を以て毆打脅迫の上金二十錢を强奪し尙引續き通行人なる咸聖秀の頭髮を掴みて引倒し兩手を細紐にて縛り上げ同人より五十七圓の現金を强奪したる一件は此程京城地方法院の公判に附せられたり

# 官金費消事件

京畿道龍仁郡水枝面豐德川里李萬應(五〇)は同里の里長事務取扱中五月より九月迄の間に里民より徵收したる戶別割畜產組合費普通學校負擔金等合計十四圓餘を橫領消費したる爲め檢擧せられ京城地方法院の公判に附せらるゝ

# 附馬を捲く

佐賀縣佐賀市與賀町生れ京城南山町三丁目居住中川伸一(三二)は十一月九日夜無一文にて太平町二丁目支那人飮食店姜瑞方にて九十二錢相當の無錢飮食をなし附馬を捲いて逃走し此程京城地方法院にて懲役六箇月の處分となる

# 歲暮の景氣

## ■花柳界は ■トン〳〵拍子

=忘年會で忙しい=

▲三券番とも 箱切れ盛況

歲暮の花柳界は相當に繁昌して千代本、花月、喜久家、精華亭あたり何れも相當な客足が絕ゐね、殊にソロ〳〵忘年會も始まりかけて何處もなか〳〵の人氣、今年はホントにありがたいとのはなしである、昨年は共進會の影響で

▲各料理屋 ともテンテコ舞の繁昌を極めたがしかし十一月中旬以後の歲暮の景氣は淋しかつた、今年はこれとあべこべにずつと平均に景氣がよく歲暮に至つて益々メートルをあげようといふ見込である、殊に昨今宴會の多い日になると三券番とも箱切れの盛況で千代本などは時々不用の妓まで

▼豫約して 愈々いよ景氣だ

さうな、この原因はどうしても米價の騰貴と鑛業界の殷振と戰爭に伴ふ一般の好景氣にあるらしい、就中内地から著名の人が入京してその歡迎會を開くといふやうなことは統監府時代よりも一層盛になつた傾向があるこのとこ京城の人氣はどうしてもお役所を主として次ぎが各種の銀行會社關係となるのであるが其の内各種の事業が發展して來れば

▼益々有望 であらう、尤も京城の商人側は石部金吉が多く歲暮と雖もなか〳〵以て發展するやうな人は尠ないさうな、これを昨今内地大阪あたりの好景氣に比較すると朝鮮の稼業はアホラシイ位なれどもその代り京城には市况の大變動がなくこれからさきはおひ〳〵良くなるうとのこと妓共も年々顏振れから衣裳までよくなつて行く兎も角も此の歲末は好景氣らしい

## 灯ともごろ

▲農學校長會議に出席して居る北鮮農業學校長の小野山善次郎氏は熱心の寫眞道樂家で近來讓讀寫眞に自家獨特の研究を加へて天然色寫眞に近いものを發明しかけて居る三日日曜日には本社の寫眞部の暗室に來て居つた▲十年一日同じ役所に勤めてゐる官吏は少くないが十年間同じ椅子に坐り同じ職務で通つて來た人は少ない▲矢野遞信局通信課長は其の少ない中の一人である、氏は明治三十九年統監府通信管理局通信課長に任じ小さい通信事業當面の責任者として來鮮以來通信課長をしてゐる▲其の十年間に氏は七等官から勅任に手の屆く三等一級となつたが一昔の間にクル〳〵動く廻轉椅子は一向替へない『カバーは二三回破れて替へたが椅子は其儘です、十年も坐つた椅子と思うと、多少見合がよくなくてもそこに愛著心が生じて來て捨てられぬですよ』とは氏の話しである

## 讀者文藝(一等には五十錢の出題劵を呈す)

▼下句付『醉て寢て』

○眞を隱す七段目(一等) 京城永樂町 奇石

き、章魚を挾んで出す九太夫

▲空の財布に物言はせ 龍岩浦 助的

▲心中話しがフイになり 釜山 金子鳳來

▲一番汽車にのりそこね 龍山 宮地生

▲借衣の羽織擬だらけ 京城 廣安打舟

▲何も知らぬと白を切り 龍山 山家乔公

▲初心な女房を困らせる 龍山 岡本小草子

▲醒めて勘定で青くなり 龍山 超以知

## 讀者文藝課題及募集規程

課題 [illegible] 締切三日 發表四日 / 締切四日 發表五日

■募集規程 ▲用紙は端書又は半紙の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲締切は一[illegible]

■拐帶者門司で捕はる

秋田縣山本郡檜川村生れ工藤永太郎[illegible]に店員として住込み時機を窺ふ中去[illegible]月二十五日主人より百三十銀行に現[illegible]にて一泊を明し翌廿八日早朝新町一丁目辻川古物店にて衣類を買ひ居る[illegible]

[illegible]名不屈尼之助、吉森政一、秋山好吉[illegible]竹内榮吉、鄭國八一名[illegible]二等(二十六)[illegible]川正太郎、林まさ、同ます、同[illegible]花[illegible]、杉川すゞ子、小阪本次郎、石堀保、同[illegible]安太郎、同[illegible]野幸太郎、同ひろ、安藤貞二[illegible]森永繁、堀重一、幹森小郁、堀政信、同一名、同[illegible]、大澤藤吉、筒井秋吉、坂田元、朴源厚、加藤[illegible]つ、同寧子、小阪平作[illegible]

天氣 は 晴れ 十二月四日

十二月一日ヨリ三十一日マデ
歲暮大賣出開催仕候
例年の通り御慰として景品差上申候
景品は御買上高金壹圓毎に券一枚差上即時引換に現品御渡し申候

# 歲暮大賣出 景品附

景品は右の如し(但し空籤なし)

京城本町一丁目
丸一呉服店
電 六三五 一〇九一

最近發明せられたる方法に依つて尿試驗を開始す本方法に據れば左の各項判明す
姙娠の有無、胎兒雌雄別、双胎か否か
肺、腸、脊髓の諸病、肉腫、癌腫、チフス、パラチフス、結核、梅毒、淋病
試驗物は尿(小便)なるを以て如何なる遠隔の地と雖小便の送附にて足る殊に醫師諸君の御依賴も歡迎す照會は返信料附にて
京城本町三丁目七〇番地
京城尿試驗所

佛蘭西料理調進
市内四通八達の場所にして至つて閑靜の地なり
客室 食堂 完備
宴會は特に御便利に取計可申候
京城南大門通三丁目
ファミリーホテル
電話一一二八番

各地駐在 外勤員採用
希望者は履歷書送附あれ
福岡市天神町二番地
日本徵兵保險福岡出張所

從七位勳六等清本熊藏儀急病にて本日午前一時死去致候間此段生前辱知諸君に謹告仕候
追て葬儀は明後五日午後四時長沙洞妙心寺に於て葬列を廢し川端妙心寺にて葬儀執行致すべく候
大正十五年十二月三日
男 清本正夫
親戚總代 清本敏一郎 松本銀藏 山形閑
友人總代 大橋常三郎 國友尙謙 太田清松 權藤四郎介 松村重治 阿部充家 萩谷蕃藏 牧山耕藏 後藤瑞巖 辰市本丸 山口太兵衛

神佛葬儀請負
供花御寄贈品一切
京城大和町壹丁目五一
大和葬儀社
電話二四三八番

…月京城監獄永登浦分監を出獄後仁川地方を徘徊し去月十九日窃盗の目的を以て仁川京町雜貨店松永勝次郎方…關釜連絡船にて廿七日門司に赴きしも旅館に宿泊すれば窃盗露見の虞あるより同市西本町九番局材木小屋…なりと（釜山）

## ◎連絡船上陸客 十二月二日

午後釜山入港對馬丸一二等客…
十二月二日午前入港高麗丸一二等客
一等（十二名）福井武次郎、堀越三郎、山崎つみ、林貝一、英人四名、米人四名
二等（二十一名）八代謙之助、都築德二郎、岩崎…

## ●小包郵便物の包裝注意

矢野通信課長談

小包郵便物差出の際頗る注意を要するは其包裝也包裝にして完全なるときは鷄卵、玻璃器及び陶器類の如き破損し易き物品にても何等毀損する所なく極めて安全に遞送し得べしと雖も若し其包裝にして不完全なるときは在中品を毀損するのみならず他の郵便物にも被害を及ぼすものなるを以て小包郵便物の差出人は其包裝方に關し充分に留意せられんことを望む今注意を要すべき二、三の實例を述ぶべし

▲柿、松茸、梅漬 鹽辛、鹽魚味噌其他液體在裡の小包にして包裝不完全なるときは長途の遞送に耐えず自然液汁流出し他の郵便物にも被害を及ぼすに付右郵便物の差出人は防水布又は油紙の類を以て適當に包裝したる上途中包裝の破損するが如きことなき樣注意せられたし

▲斧、鋸、針 其他の金物類にして木箱等を以て包裝せるものは在裡品自體の重量に依り破損する場合少なからずされば木箱は強質のものを使用し脆弱なるものはこれを用ゐざる樣したし又釘付不完全の爲め木箱破損し或は裝釘脱落するものあるに付裝釘は適當の間隔を保たしめ成るべく布を以て木箱を包ましむるを以て輸送上安全なりとす

▲郵便物自體 を十字形又はキ字形に縮括せる麻糸類脆弱又は細きに失するときは長途の遞送中切斷することあり又結括方不充分の爲め遞送途中緩みを生じ脱落することあるを以て縮括を要する小包郵便物に對しては成るべく縫目なき強度を有する糸を以て緊括することゝせられたし

▲壓損の虞れ たきものは成るべく強質の布袋に納めしむるを便利とするも布を以て包裝せる小包郵便物にして縫糸脆弱なる爲め遞送途中自然破綻を生ずることあるを以て縫糸は強質のものを使用せられたし

▲郵便物の包裝方 に關しては郵便物包裝規則に詳細規定しあるも要するに堅固に包裝し在裡品を破損せしめざる樣且つ他の郵便物に被害を及ぼさゞる樣注意を要するものにして猶受發人居所氏名等を西洋紙の上にペンにて記載し又はタイプライターを以て印刷せるものを郵便物に糊着せるものは取扱中脱落又は擦損の爲め宛名不明となることあるを以て宛名は郵便物自體に大書せしむるか又は白布に少なくも一號活字以上の大文字を以て印刷又は記載することゝしたきものなり

小包郵便物の包裝を完全にするは經濟上有利なるのみならず發信人は勿論取扱郵便局所の處理上手數少なきを以て小包郵便物の差出人に於ては充分に留意あらんことを望むマニラ郵便局に於ては小包郵便物の包裝を完全ならしむるが爲め小包用の包裝用品を實費にて販賣するの計畫を實行したるが其成績良好なりと云ふ

## 熟睡は最善の藥

この子供は性來弱いといふ人があるが子供に強い弱いは無い筈です抑も生れると言ふ事が既に其兒が強い素質を備へて居る理由なので全く弱いものならテンデ此世に出る迄に死んぢまふ筈なんですだから生後強くするも弱くするも

◆親の責任 にむる子供の時分は發育の頗る旺盛なもので常に大きくなら膨れようとして居るのだから世の親達は茲を考へて少しでも心身の自然發達を妨げる樣な事をしてはいけない『寝る兒は達者』とは昔から云ふ事ですが一體子供に限らず人間は能く寝るといふ事が最善の藥で

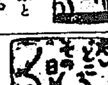
◆達者な人 程熟睡します熟睡出來ない人は不幸な人で眠れない眠れないが積ると終には永眠して了ふのです然らば能く眠るには如何にせばよきかと言へば唯能く働けば好いのです子供でも其通りで寝付の

◆惡い子は 身體が弱いのだから此點は餘程注意しなければならぬ元來子供は絶えず動いて居なければならぬ樣に出來て居り調子付くと隨分巫山戯散らす事があります之を親達が面倒がつて無暗と叱つておとなしくして居れと吩咐けるのは子供を萎縮させる許りでなく身體を活動させないと

◆夜分寝付 が惡くなり其結果自然身體を弱くしてしまふ其れ故子供に身體を動かさ無い樣に強ふるは實に子供虐待と言はねばなりません子供が餘り惡戯し過ぎると思つたなら之に代るべき他の適當な遊戯法を敎へて充分身體を動かす樣に躾け疲れて能く熟睡する樣にして遣らねばなりません是れが子供を丈夫に育て上げる第一要件であります

◎會計課員兎狩 三日總督府會計課員百餘名は景福宮裏三角山麓にて兎狩を催したり

◎國分夫人別府溫泉行 國分司法部長官夫人は娘子嬢を伴ひ令嬢病後靜養の爲め目下大分縣別府溫泉に赴き當分同地不老閣に滯在の由



回鯨みそに 鯨を大切りのまゝ煮立つて居る湯に入れてザツト湯出し一口位に切りて鍋に入れだし砂糖を加へて中火にかけやはらかになつた時に赤みその裏漉したるとみりんとを加へてまぜながら味つめ醤油を少くたらしても[illegible]

## □日曜漫畫 茶目の炬燵 —めちや吉齋—

炬燵が出來ると茶目のお家では毎日いろ〳〵の面白い騒ぎがもち上ります（1）一度炬燵に入つたが最後耳か引張られても梃でも動かない茶目でもブーカドン〳〵の樂隊が來た眞似をしますと直ぐに飛び出して炬燵を取られてしまいます（2）おぺそは又茶目からどんなに虐められてもなか〳〵炬燵が離れませんけれど大事な〳〵お人形を殿す眞似をすると狼狽てゝ飛んで出ます（3）母樣も炬燵から出て貰ふと思へば『大變〳〵猫がお肴を咬へて行きました…』と云へば母樣は直ぐに炬燵を空けます。（4）『お祖父樣お祖母樣が二階から墜こちました大變〳〵』と怒鳴ると吃驚して直ぐ炬燵を出て來ます

●日本一の栗羊羹 京城本町二丁目 龜屋

内科 小兒科 村上病院 京城永樂町一丁目（品商陳列館前） 電話六二三番
院長 醫學士 村上龍藏
副院長 熊本醫學士 松下三[illegible]

鐵綱 木材 船具
鎭南浦三和町 株式會社 中村組商業部 電話百十六番

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百六拾五萬圓
株式會社 第一銀行京城支店 京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
頭取 佐々木勇之助
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

くすりは山岸
諸官衙御用達 洋藥賣藥卸問屋 醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實、に市内配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部 電話 一二二 一二〇 振替貯金京城一〇三

眼科專門 入院隨意
江頭眼科醫院 京城明治町東拓横（電話二〇四四番）
日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

特約店 平壤 桑田支店

内科。小兒科
外科。花柳病
眼科。皮膚科
産科。婦人科
胎兒男女別の鑑定
家畜病科
狂犬病の鑑定
狂犬病豫防注射
職員 雨森良三 日高廣矢 高木正人 瀧川繁太郎 依光重晴 島田營二
但し初回の往診に限り車代申受候（龍山方面より電話にて往診御申込の際は電話料弊院負擔可致候）
診察無料 藥價低減 入院隨意
▲藥は遠近に拘らず當病院より無料配達仕候
診療時間 晝夜
私立 岡崎町病院 京城府岡崎町五番地（古市町電車停留所前） 電話長京城 一二五二番

# 美顔水

各宮家御用 美容術大家 マリー・ルウヰズ嬢

宮内省御買上品

## 一般御婦人の爲に語る

鴨河の水 がよいので、京都に美人が多いといふ事を聞いて居ります。が、成程水質と美人とは密接な關係があるものです。どいふのは石灰分を含む硬水、一口にいふ惡い水を使ひますと皮膚は荒れ、色はじゝ黒くなり、肌理は荒くなるからであります。井戸水は何うしても多少共石灰分を含みますから皮膚には餘りよくありません。先づ安全なのは水道の水ですが、併し尚幾分かの石灰分が無いといふ譯には行きません。

水質を良くする法と豫防法

井戸水でも水道の水でも、沸騰すと石灰分は大方無くなります。從つて顔を洗ふのには餘り熱くない湯を使ふのが一番安全ではありますが、尚一層完全に水の害を防ぐのには化粧用美顔水が理想的であります。佛蘭西ではデタージャント（洗面後用化粧水）と稱する化粧水が此目的で一般に持囃されてゐますが、其成分は美顔水に似てゐます。顔を洗つた後で必ず美顔水を附けておく事にすれば、硬水の害を防ぐ事ができます。私は浴後と洗面後に化粧用美顔水を附ける事を欠かしません。續けて使つてゐれば垢ぬけする事も確かで、此點舶來化粧水デタージャント以上と思ひます。

右は去る八月桃谷研究試驗部階上に高貴御用品調製室を特設せる際御來觀を乞ひたるマリールウヰズ孃の語られたお話の一節であります。美顔水は硬水の皮膚に對する害を防ぎ、續けて使へば垢ヌケして美しくなる事は同孃のお話でも分りますが尚此の外にも

理想的の白粉の溶水 化粧用美顔水で白粉を溶いてお化粧すれば、白粉のノリノビが非常によくなり、思ふ儘に美しいお化粧ができます。

▲又にきび吹き出物を治すのには別に『ニキビとり美顔水』がありますから其れをお薦め致します。

▲新美容藥を完成したる 桃谷研究試驗部
▲顧問 藥學博士 丹波敬三氏 醫學博士 山本淳一氏
▲主任 藥學士 桃谷幹次郎 千葉藥學士 小磯勝次郎 仝 藥學士 齋藤銳助

2376.170.13

…一週間以内に於て發見通告者に對五十錢書籍券を呈す（但何書何號と明記に限る）
同七日 同八日 九日
同八日 同九日 十日

報 しれ [illegible]

京城測候所 四日正午 …

# 宮本武藏

第二百二十四席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

喜兵衞は掘出した黄金の阿彌陀佛を我家へ持歸り佛壇を造へ其の中へ入れ 喜『あゝ有難いことだ、やう〳〵の思ひで掘出した、永年土中に埋れて居つた御佛が此の世へ出現ましますといふのは嬉しいこと、南無阿彌陀佛〳〵』と朝夕信じて居ります。偖源兵衞の方で大騷ぎをしたが、何にしろ臺所は悉皆立直り竈も新規に築いたので、此の入費一切は喜兵衞の方から出たのであるから 源『喜兵衞のお影で臺所も美麗になつた』と喜んで居りまする、喜兵衞は相變らず右の御佛を念じて居りますと、近所の者も入費を出す處を喜兵衞が出させないから其の替りに何か阿彌陀樣へお上げ申さうと種々な供物などを持つて參つて、念じて歸りまする、さア是が大層評判になつたから近所の者が集つて參り ○『此處長岡屋の竈の下より掘出した阿彌陀如來を拜まして下さい』と皆々賽錢を上げ或は供物を供へて阿彌陀如來を拜して戻るやうな譯、何處の土地でも奇を好むものと見ねて、遂には路次口へ提灯を出して幕を張たりする、人が出るから縁日商人なぞが出るやうなことになつた、喜兵衞は何が幸ひになるか判らないもので、賽錢だの米なぞを上げるから此の程は廟々でございますと或る一日長岡屋の小僧が參り 小『あの喜兵衞さん、家の旦那が然う云ひましたが、阿彌陀樣を持つて直に來やうにとも云ふことで』 喜『あゝ然うかね、大きに御苦勞で、今直に行くから』と喜兵衞は阿彌陀如來を持つて源兵衞方へ參りまして 喜『ヘエ旦那今日は、只今お使でございましたが、如來樣を持つて直ぐ來いと云ふことでしたが』 源『如來樣を持つて來たか』 喜『ヘエ』 源『持つて來たら見せろ』を取上げて見たが、

源『是れ喜兵衞、此の如來は俺の所の竈の下に埋つて居たので、然て見ると俺の地面内にあつた物だから俺の者だ、是は俺が貰つて置く』と後の戸棚を開けて中へ投り込んだから喜兵衞は 喜『旦那冗談じやうございません、貴下の處の竈の下に埋つた居たには違ひございませんが、それを取上げて戸棚へ投り込むのは甚ございます、私は阿彌陀樣の夢のお告げを蒙つて貴下の處の竈の下より掘出しましたのだが、元より信心をしてお返し申せば差支はございません、貴下もそれを御承知なすつたのでせう、又私の手にあれば朝夕供へ物をして拜しもいたします、貴下の手へ上げたら戸棚に投込んで構はない、それでは勿體ない譯、何うか私にお守をさして下さい』 源『八釜敷い、ベラ〳〵喋舌やアがつて、貴樣一人で念じて居るなら宜いけれども、何だ大勢集めやアがつて、賽錢だの供物を上げさせ狹い路次口へ提灯を出したり幕を張つたり、縁日商人などを出すといふのは往來の妨げだ、俺の地面内だから其麼ものを出させる譯には叶かない』 喜『私が出さしたと云ふ譯ではありません、商人が勝手に出るので、何うぞ御佛を返して下さい』 源『此の阿彌陀如來も烏黄金だなぞと云ふが、黄金じやア無ね、鍍金をしたのだ、こんな騷ぎをしやアがつて汝が金儲けの爲に始めやアがつたんだらう』 喜『是は怪しからんことを被仰る、黄金の御佛を鍍金だなぞとんでもないことを被仰る』 源『何を云やアがる』と突如拳を固めて喜兵衞の頭を打つたから、喜兵衞も負けては居ない 喜『オヤ俺を撲つたな、家主だつて店賃の借はありやアしねね、然て見りやア驚くことは無ね、俺が骨を折て掘出した佛樣を取上げてしまやアがつて太ね奴だ』と立上つて源兵衞の胸倉を取つたから 源『此の野郎、俺に手逆ひをしやアがるな』と二人で取組合を始めた。


婦人科 産科
京城壽町四一
一二宮醫院
醫學士 二宮亮吉
電話二三〇一番

南米倉町朝市場通仁濟病院跡
内科小兒科
花柳病外科
入院隨意
上野醫院
電話二九三四番

永樂町二丁目金光敎會向西三軒目
奇石治療 元家酒井楢吉出張
皮膚病胃腸病婦人病神經痛リウマチス特効有り

京呉服
京都 永樂町三丁目 たまや出張店 電話二一九六
染


十二月五日 九星 暦十一月十一日 丙子 本命四緑 羅 除 先負

▲四緑 此のもごろ事有る日注意新事見合北方は吉旅行弱▲五黄 忘役氣味の事有る日新事手控家事は吉又散財ながるべし▲六白 平潮の日物の仕度を爲すは吉新事手控離農愛は妨なし▲七赤 ふさ掛がる事有る日新事手控井事は吉買物に用心せらるべし▲八白 女難失物用心の日新事手控普事士工は妨なし▲九紫 便越の日轉居入學命件名弘家作求職婚禮願山業等皆吉▲一白 大利の日轉居行商出 漁名弘命件建築縁組等皆吉物に勝の日▲二黒 間のわけた事有る日新事手控萬事は吉一切のかけ事を慎ず▲三碧 慶賀の日轉居 行 商入學會議出發求職縁組 釀造 業等萬吉


山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵税二錢
[illegible]


〈演藝案内〉

明治町 電話二六〇 浪花館
新時代の浪花節吉川今勝一行來る
▲二日より毎夜六時開演
讀物毎夜續き△五郎正宗(吉川都)△征韓論眞傳(吉川鐵丹)△いかるが平治(浪花錦升)△慶安陰謀録(吉川容堂)△義士本傳、美人殺(長講二席吉川今勝)

本町一丁目 電話二六六 有樂館
日本活動寫眞株式會社特約
十一月二十七日より三大寫眞提供特別興行
[illegible]

連日連夜 滿員御禮 申上候
日本三大仇討の一
天下一品 武士道鑑 會我兄弟
尾上松之助 實川延一郎 (兩座總員百五十名)登場
跡三日間 大正館

御成町 電話一九一 御成座
第三十九回公演 大和櫻 全十一場
[illegible]

櫻井町 電話八七三 大正館
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
十一月廿九日より引續き特別大興行
[illegible]

[illegible] 電話二八五二(階上)二六三七(階下) 黄金館
[illegible]


M EP
品質本位 エマリ
大阪唐物町四丁目 飯田商店



ライオン齒磨

# 帝國の問題!

日本人の壽命は一般西洋人の壽命に比べて、幾分短いのであります。これは畢竟日本人の衞生思想が彼國人に劣る當然の結果だらうと思ひます。然しこれは實際大に憂ふべき事で、今日及び今後、如何にして日本人の健康を增すべきかは、誠に帝國の重大問題であります。そして此問題に對する最も有力な解答は唯一句「純良齒磨を以て齒を磨く事」に歸するのであります。

## 大なる母の責任

然らば齒を强くするには何うしたらよいか?それは齒科醫の申さるゝ通り、良い齒磨を使ふ事であります。そして、それをかよわいお子樣の乳吞齒の時分から使はせて、早くから强くしてかからねばなりません。一体大人の良い齒でも、必ず良い乳吞齒の跡へ生えるものであつて、乳吞齒が惡くては決して良い齒は生えません。それ故、お子樣に良い齒磨を使はせることは極めて大切な心得で、それがやがてお子樣の幸福となり、延いて國家の利益となるのであります。そして此大責任を負ふものは、御兩親、殊にお母樣であります。

## 富國强兵の基

かくて此大切な衞生法を、日本國民が完全に行ふ樣になつたならば、きつと日本人は世界中で一番健康な國民となり、一番長生する人種となり、自ら富國强兵の實も擧がるのでありま す。是に於て齒を保護する爲めの齒磨の選擇が必要となるのでありまして、結局一番品質がよくて一番信用の厚い齒磨が最も要求されると云ふ事になるのであります。

## 齒科醫の推奬する齒磨

ではどんな齒磨が良いか。と云ふ此の問に對する答は唯一つです。即ち「總ての齒科醫が、其患者に使用をすゝめてゐるライオン齒磨が一番良い」といふ事になるのであります。ではライオン齒磨は何故よいかと云へば、それは原料と調劑と製法とが、學問と實地とから來た優秀さで、齒を强く清潔にする完全な作用をもつてゐるからであります。その上澤山賣れる結果値が廉くなつてゐますから、一般人朝夕平素の常用に適してゐるのであります。

## 警告

かやうに模範的齒磨ライオンの存在する以上、お母樣である方々は、御自分ばかりでなく、必ずお子樣方に齒の衞生を行はせる事を怠つてはなりません。そしてライオン齒磨の藥效によつて齒を强く清潔にする事を心掛け給はん事を望みます。



汽車
[illegible]

京城日報

四日附録　（タ刊と合せて八頁）

本紙定價　一ヶ月金五拾錢　三ヶ月金壹圓四拾五錢　六ヶ月金二圓八拾錢　一ヶ年金五圓五拾錢

廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲特別欄一行金壹圓

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話　編輯部四五番・營業部二一番　振替貯金口座京城三〇〇番

第三版

# 展覽會の結果

近時世人の、趣味低下に就ては、心ある者の、窃に顰蹙し、痛惜しつゝある處にして、例へば文學界に於ては、彼の自ら遊蕩文學等と稱する者の現はれ、而も其の流行盛にして多大の讀者を有するは、其れ書く者の罪か、讀む者の罪か、今暫時其の善惡は別として、之が盛に歡迎せられつゝある事實は、確實に、近來文學趣味の低下しつゝありと、云ふに躊躇せざるべからざる也。否、何人も心ある者は、必ずや慨嘆する處なるべし。之をして時代の要求と云ふ勿れ。嗜好の自然と云はしむる勿れ。之れ書く人の墮落と、讀む人の趣味の低下なりと云はんのみ。西洋の事は知らず、苟くも我帝國に於ては、斯る文學を稱して、吾人は無用有害のものと云はんのみ。而も、英氣潑剌、志操堅固、國威發展の、大任務を有する、我植民地青年間に、近時此の風潮滔々として、浸入しつゝあるは常に吾人の窃に憂ふる處なりし。此の秋に於て、我社が、星州畫伯の繪畫を陳列し、以て一般人士の觀覽に供せしは、其所以の奈邊にあるかは蓋し說明を要せざるべし。星州子は親しく滿蒙を踏破し、深く西藏に入り、山東に遊び、幾度か馬賊に捕へられ、萬苦千辛、而も一片の畫筆を以て、奉公の大任を盡さんとする人。從つて其の畫く處のもの、何れも吾人に一種の刺戟を與ふるものゝみ。茫漠たる戈壁の沙漠、旅順古戰場、堂々たる青島の新占領地、哈爾賓原頭志士埋骨の處、得山の險、首山堡の思ひ出、其他數十點、何れも觀者をして發奮せしめざるものなく、若干なりとも、我風敎上に益する處あらん事を思へり。然るに觀者中の多くは、幸に吾人の意に反せず、見來り、觀去りて、矜りに心醉するの觀あり、殊に學生諸君の如きは、自ら紙筆を出して、長時間之が寫生に耽る者さへ多かりし。茲に至つて、本展覽會の、有意味にして、其の結果が吾人の期待に相反せざりしは、吾人の窃に欣快とする共に、是れ吾人が社會に對して、致したる微衷の成功を云はざるを得ざる也。

# 鏡城訪問記(一)

西海生

□官吏の鏡城

▲咸北の首都鏡城は遠からぬ城壁に遮られた海に近い町である、其の城壁は可なり頽廢しかけてゐる、頹廢しかけた城壁に沿うて風雅な老松が可なり見ゆる一見趣つた、感じのする町だ、北方坦道二十町にして獨津港に達する、鏡城出入の旅客及び貨物の大半は茲で呑吐される▲朝鮮人は二三千あるらしい、內地人は最近の調査で六百餘だとの事であつた、官吏の鏡城、實際鏡城の內地人から官吏と其の家族を除いたら何が殘らう、官吏に日用品や諸雜貨を供給してゐる店を失くしたら跡に何がある、鏡城は官吏の鏡城、鏡城は官吏で立つた町である▲道廳を第一に警務部憲兵隊次には地方法院慈惠醫院それから警察署郵便局郡廳もあれば金融組合――準役所だが――もある、鏡城と云つても羅南とか清津とか云ふ程汎く聞えてはゐねが、官署所在地としては堂々たるものである、城內は稍市區の改正をなし道路の新設を行つて、若干役所や官舍の軒並は整つてゐる▲記者は九日の夜鏡城に入つて十日十一日と滯在した、船の出帆の都合が僕をして鏡城に悠然腰を下させたのである、今少し時日があり、寒くなければ朱乙温泉や生氣嶺の視察もして見たかつたが、それだけの餘裕と勇氣が僕に出なかつた▲鏡城滯在中、僕の心を最も動かしたのは、此地知名官人家族の不幸であつた、桑原長官が昨年其の愛兒を相踵ゐで失くされたのを初め、最近此種の喜ばしくない出來事は仲々多い、齋藤院長は令孃を亡なひ、水野醫務部長も掌中の珠と慈しめる其の十二歲のお孃さんを此の初秋に早世さした、伊藤第二部長も記者の鏡城を訪ふ五六日前其の愛孃を先立たした▲で、三田第一部長の如きは今度は乃公に廻つては來ぬかと、非常に警戒をしてゐられるとの事である、僅た間に多からぬ高等官の家族――立派な官舍に住み、上流の生活をしてゐる人々の間に此の不幸を見てゐる、其他の判任若くば無名の家族の上には此種の悲劇少なくないと聞いたのであつた▲何故鏡城の兒童に早世者が多い乎、力ある家の毛孩を疑つてゐる人もあつたが、齋藤院長以下醫官諸員は皆相當の經驗を有せる人で、さうした非難を打つのは酷であらう、水が良くないしそれも慥に一の理由らしいそれより鏡城は氣温の激變が酷い一日の內に三十度も上下する事敢て珍らしくない、これ子女の呼吸器を害し、肺を痛むる原因だと說明する人もあつた、さうして不健康地で孜々營々事務を執れる官吏諸氏には深く敬意を拂つてよいと思ふ▲鏡城の夜――實に淋しい人ッ子一人通らぬと形容してよい位、淋しい東北に海を受けてゐる丈け、潮風は四六時中弱からず吹きつけ、城壁の老松や電線を唸らしてゐる、鏡城は決して咸北の首都らしくない、實に淋しい町だ▲お隣りの羅南が繁昌すればする程鏡城の其の勢力が削りさられる。日用品でも反物類でも宴會の女まで其の都度羅南から供給を受くる事に甘つて行くらしい、其の方が品がよくて安い、從つて鏡城需要者の鼻がそこに向く、益々鏡城は淋れる、商人の資本が乏しいのと、多く其の仕入を羅南に仰ぐかららしい、此儘投つて置いては遂に鏡城は官吏計りの鏡城にならぬかと云ふ人もある

# 朝鮮十三道便覽

## 大正六年一月元旦附錄

大正六年一月元旦の京城日報は、新年附錄として朝鮮各道の事情を詳載せる、小冊子を添附すべし、何人たりとも一見すれば、座に居て各道を親しく觀察し得べく、稀に見るの好便覽なり、投資家は之に由て、將來の計畫をなすを得べく、旅客は是に因て、最も愉快なる旅行をなし得べし、何となれば江湖諸君が知らんと欲するものは、殆んど蒐集せられざるなく、殊に其一目瞭然たる處は、密に本冊子の誇とする處也、其の內容の如き、我社が多額の費用と、多大の勞力を以て、悉く蒐集せる材料により、て、巧に編輯せられたるものなれば、此の一册だにあらば、既に諸君は朝鮮通を以て、自任するを得べし、本小冊子の如きは、我社が聊か江湖愛讀者諸君に、酬ゐんとする衷心に外ならざる也。

## 斯の如き好附錄ありや

京城日報社

# 日報詩壇

○秋日訪友人山居　大出水鈴
幾曲羊腸夕陽移。打竹扉驚啄葉滋。有情吏切小亭結。作白雲涯。
評曰　瀟灑清疎、不弄巧而巧、

○秋日山行　兒島九皋
嶺頭吊酒亦何妨。坐愛楓林已飽霜。忽地風來人欲醉。一聲長笛映斜陽。
評曰　空中樓閣見天女奏舞

○山寺觀楓　藤倉藤蔭
纖成錦繡梵王宮。顆顆還看梯子紅。燦酒風流今在否。詩僧笑指一林楓。
評曰　山寺光景如觀、三四妙諧使人破笑

○觀楓　兒島九皋
丹楓染出碧溪頭。反映斜陽影欲流。粉本在胸清暇日。生絹一幅繪霜秋。
評曰　君善畫又善詩、何等風流

○秋雨懷鄉　田淵黍州
關險落葉近窓邊。雨濕客衾離就眠。不識老親何夢結。關山杳杳恨綿綿。
評曰　與關山三五月客子憶秦川句

○同一筆意
○秋日山行　藤倉藤蔭
夕陽秋色滿南山。楓樹燃紅松柏間。濃淡按排真活畫。漫爲粉本客忘還。
評曰　詩亦如畫

○秋雨懷鄉　辻翠翆
疎雨冷風撼敗蕉。又聞歸雁度雲霄。凭窓空望故山路。淚濕衣襟恨不消。
評曰　凄然動人

○秋雨懷鄉二首　阪上恰庵
蕭蕭夜雨睡難成。冷入衣襟客夢驚。手把殘書燈下坐。滴聲喚起故園情。
夜雨聲聲滴老杉。襲人秋氣轉森嚴。醒來堪恨思鄉夢。也剔孤燈讀碧巖。
評曰　情語深切、佇首太佳

# 日報歌壇

京城　石花島哀華
忘れてはつと差されたる盃に手觸れんとして心目覺めぬ

京城　佐崎似石
罌ばしき植物園の溫室に入れば尖がりし心なごみぬ

京城　比留間生
我口より言ひし言葉をある心一つ一つに否みてありぬ

京城　比留間生
反對の二つの心水銀の如きものに初冬の霧の中より蹈として朱盆の如き陽は昇りけり

京城　潮路
眞白の片頰にそよぐ後れ毛のなめきて見ゆ朝霧のなか

君飲ます歌うたはねば何にとなく鷗戀しく海岸に來ぬ

# 日報俳壇

課題　▲小春(締切十二月八日)▲木枯(締切同十日)▲冬田(締切同二十日)▲寒雀(締切同廿五日)

(注意)一題に付一人十句以內、用紙は半紙型、本社編輯局日報俳壇係に宛て投稿の事

木堂　犬養毅先生述　(新刊)

# 木堂清話

□中判上製頗美裝箱入　□正價金一圓送料八錢

政界の高士木堂先生の熱血凝て本書成る

木堂先生一度び口を開けば滔々論風發奇警百出人の肺腑を突く本書は實に先生が大識見を以て青年を指導訓戒し或は國家の現在將來を洞察し國民の覺醒を促し或は社會風教思想を論じ或は人生の趣味と風流韻事を語る等縱論橫議一々人情の機微を穿ち近來稀に見る快著也身を立て名を一世に輝さんと欲する青年乃至經世憂國の士は須らく一讀せよ

文學博士福來友吉先生新著

# 心靈の現象

□中判上製頗美裝寫眞十數葉入　□正價金一圓三十錢送料八錢

今や東西文明の思想界は科學に不滿を抱き神秘主義心靈主義に入らんとし斯學の率先者福來博士は愛に見る所あり數年の研究を傾注し此名著を公にせらる心神力心療治療潛在精神の武士道等の如き凡ての心靈的活動神秘的現象は之を平叙し細大漏さず何人にも解し得易し

好評忽三版

發兌　東京日本橋區本町　弘學館　東京三三〇番　振替東京三三〇番
賣捌　京城本町二　大阪屋號　釜山博文館　其他各書店

## 新刊書御案內

| 書名 | 著者 | 定價 |
|---|---|---|
| 徹底禪 | 秋野孝道 | 九〇 |
| 最新物理學精義 | 森總之助 | 二、七〇 |
| 日本民權發達史 | 植原悅次郎 | 二、二〇 |
| 法華經講義上 | 本多日生 | 一、八〇 |
| 商業簿記上 | 小林行昌 | 一、五〇 |
| ヘンリー・ア一・シーア一博士 經濟原論 | 崔用 | 一、一〇 |
| 禪道哲學 | 小野清秀 | 一、二〇 |
| 快話 | 曾原時保 | 一、二〇 |
| 傑談 | 田中貢太郎 | 九〇 |
| 珍らしき科學の話 | 釋山紫人 | 一、二〇 |
| 小說夏木立 | 正宗白鳥 | 八五 |
| 小說雪扇 | 岡田八千代 | 九五 |
| 糸竹大全 | 佐々醒雪 | 一、〇〇 |
| 先哲文庫義太夫集上 | 淵樂蘭書 | 八〇 |
| なすな戀 | 坪內士行 | 五五 |
| 物見遊山 漫畫と文 | 岡本一平 | 七五 |
| 日記のつけ方 | 水野葉舟 | 七五 |

京城本町二電話二〇八六番　振替京城二一五番

大阪屋號書店

## 特許ウヱバー式(テーバー型)鐵筋コンクリート煙突

外觀壯美、施工迅速、堅牢無比、工費低廉高價なる煉瓦に勝る

世界第一の鐵筋コンクリート煙突

大分縣佐賀關久原鑛業株式會社製煉所に於て築造中なる
高サ地上五百五十呎、底部九十五呎
頂上內徑二十六呎三吋
目下四百五十呎まで築造進渉し十二月中全部完成す

特許ウヱバー式鐵筋コンクリート煙突

特許 コンプレッソル 式基礎工事
特許 ペデスタル コンクリート 一般工事
特許 コンクリート 用鋼材販賣
(カタログ進呈)

東京市麴町區八重洲町一丁目一番地

東洋コンプレッソル株式會社

電話本局二八〇六番

## 營業品目

| | | |
|---|---|---|
| 罐詰 | 乾物 | 海產物 |
| 清酒 | 銘茶 | 漆器 |
| 家具 | 文具 | 紙物 |
| 荒物 | 履物 | 金物 |
| 陶器 | 磁器 | 鹽 |
| 鹽鯖 | 棒鱈 | 數の子 |
| 日刺 | 昆布 | 鰹節 |
| 金時豆 | 鶉豆 | 空豆 |
| 蒲團綿 | 中入綿 | 小袖綿 |
| 會席膳 | 吸物椀 | 重箱 |
| 鏡臺 | 箱火鉢 | 炬燵櫃 |
| 飯櫃 | 御三寶 | 宮蒸 |
| 飯呂 | 今ストーブ | 茶瓶 |
| 鍋釜 | | |

仁川新町　津田兄弟屋本店　電話七六二番　振替口座京城三八九番

仁川宮町　津田兄弟屋支店

京城本町　津田兄弟屋支店

## 京畿第一部地方係編纂

# 民籍居住法令例規集　全

菊版洋綴　紙數約四百頁　正價金參拾五錢　郵稅八錢

民籍ハ個人ノ身分關係ヲ明確ニシ且戶口調査ノ基礎ヲ定ムル重要ノ事務ナリト雖其ノ據ルヘキ法規ノ內容ハ極メテ簡單ナルヲ以テ該手續ハ專ラ其ノ後續出セル幾多ノ通牒、例規ヲ綜合シテ之ヲ處理セサルヘカラス然ルニ是等參考書ナキヲ遺憾トシ這回京畿道主務係ニ於テ是等關係ノ法令例規ハ勿論其ノ他執務上若モ參考トモ爲ルヘキモノヲ蒐集シタリ本書特ノ色ハ國文ノ傍ニ諺文ヲ付シ以テ內鮮人共ニ容易ニ讀解シ得ルノ便ニ供シ又申告書樣式、年代對照表及親族圖ヲ附シ殊ニ法令例規ノ內容ヲ一目瞭然タラシメ必要ト認ムル事項ヲ檢索スルノ便ニ供スル爲卷首ニ總目錄ノ外事類別總目錄ヲ付シ又卷末ニ年別索引ヲ添付シ尙本書發行關係法令ノ改廢及制定アリタルモノニ付テハ特定ノ時機又ハ必要ト認ムル場合ニ於テ一續發セラルルヲ以テ府面ノ實務者ハ勿論郡監督者タル法曹タル將タ一般人民タルトヲ問ハス皆坐右一本ヲ缺クヘカラサルモノナリ

本書ハ素之レ商利ノ目的ニ出テタルモノニアラス全ク參考書トシテ發行シタルモノナルヲ以テ發賣部數ニ限リアルカ故ニ希望諸彥ハ速ニ御注文アラムコトヲ

賣捌所　京城太平町一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

# 京日案內

普通　一回前金一行三十錢　一番外六十錢　一回每に五錢增無割引　申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず

◎讓店　學校の前にて有望なる文房具店讓渡したし　(姓名在社)　846

◎松村昌治なる者は我社員に非ず御注意被下度候　京城長谷川町九十一番　帝國公債信託株式會社朝鮮支部　844

▲求職　英語に熟達し簿記計算事務に多年の經驗を有する者會社商店に雇はれ度し　(姓名在社)　845

▼御寄寶　御小賣　神誠館代理店　京城本町電二五二七●ウツボヤ書店　591

店員入用　年齡十六歲以上二十歲迄の者至急入用希望者は來談あれ　龍山三角地前　山崎雜貨店　826

明治町筋電二六三六

南大門裏通り藥屋建土地百拾六坪格安にて讓渡したし望み方は北米倉町百六番地森義勇に來談ありたし　847

古本なら野村　買入誠實御報參上　野村書店　827

◎古本熱心高價買入　▲御報參上　本町四　書肆　群書堂　828

◎是非御試買を乞ふ　▲電話二七八一番

京城で一番安くて上手で丁寧な染物店は　南大門通二丁目　電話二三八六番　西野染工場　833

◎ピアノリン　京城本町勢山樂器店　ハトポッポ○オ月サン○モモタロー其他一人で歌う面白樂器　837

◎女中入用　年齡不問品行善しきもの本人來談　京城南山町　松園　838

◎店員入用　十五歲以上廿五歲迄本人來談　京城本町二　松菊屋小間物店　839

金融　月收の御方(極秘信用便)宜立替御報伺又來談　大和町三の三二(潟澤前)起木屋

總驗ある看護婦一名至急募集す(履歷書携帶のこと)　京城黃金町二丁目八五　朝鮮實費診療病院　832

家兎　種兎仔兎販賣　西大門外阿峴里電話一八五番　蘆田養兎園　705

奸商横行　各地へ當店の名義を詐稱し類粗惡の萬年筆を持廻る由當店行商人は一名も派遣せず何卒御注意相成度候　京城旭町二東京パイン萬年筆出張所　849

英語　普通會話作文に通じ事務に經驗ある者一名雇入る希望者は自筆和英兩文の履歷書携帶午前中に來談せらるべし　仁川　廣昌洋行

恩給　年金　低利長期即金立替　短期無保證及無手數▲京城永樂町→商品陳列館表門前　江州屋本店　848

百貨運送　春川加平忠州利川原州牧溪各地方行　牛馬車運送取扱確實迅速　京城鍾路五丁目電二八〇六番　友田運送部出張所　850

原料騰貴の爲め十二月一日より食パン左の通り値上致候●小賣一斤十錢卸賣一斤九錢(電話一八四二)太平通二丁目　パン製造麥粉販賣　公安號　817

●はねつき　うちみくじき等　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場　829

大和町一丁目(日の出酒下る)小兒科內科　爲春堂醫院　院主　古[illegible]俊吉　(電話一八〇六番)　656

礦物定量分析　京城府太平通(朝鮮公論社左小路)電話一三四四番　坂元分拆所　767

京城春川間毎日午前八時出發自動車　京城南大門通一丁目電話二一九番　春川　廣橋自働車組　主務　金子　630

# 血迷へる奉天公民會
## 日本を敵として戰はんとの檄文を飛ばす

奉天省公民會は「鄭家屯交渉の眞相」と題する根本的反日の一大檄文數萬枚を支那全國に配布せり其の內容は日本は故意に該事件を構へて殘酷なる條件を提出し先づ滿蒙を歐洲戰爭中に併合し後支那を併呑し更らに世界を征服せんとの野心を藏するものなり蓋し日本は世界の公敵なり支那は力弱くして日本の要求を承認せざるを得ず承認せんか國亡ぶ承認せざるも亡ぶ亡ぶは一なり寧ろ日本と戰はんと云へる不穩なる文字を以て滿たされ居れり(奉天特電)

# 軍隊軍器引渡承諾
## 希臘國王聯合軍側の要求を容る

雅典來電=希臘國王は聯合艦隊司令長官フールネ提督の要求に係る砲兵隊軍器引渡を承諾せり右の結果として聯合國海兵隊はピラエウスを撤退しつゝあり(紐育電報)

# 外交官異動

露國駐劄大使後任は內田康哉子に決定せし事は既報の如くなるが之と同時に露國大使館員にも多少の異動を生じ松島二等書記官は歸朝の上本野外相の秘書官となり永井現秘書官は電信課長專任となり松島氏の後任は本省より任命を見る可しと(東京特電)

# 浦鹽禁輸と朝鮮

浦鹽經由一般貨物の輸入禁止は愈々近く實行さるべき模樣なるが右禁止の朝鮮に及ぼす影響に付果行力者の說を聞くに大局より見て浦鹽の輸入禁止が何程日本に打擊を與ふるやと云ふに左程激甚ならざるべし何となれば現在日露貿易額の七割は軍需品にて何等禁輸の拘束を受けず差向き輸入を禁止せらるゝは三割方に過ぎず然も其の三割の內露國商工局及び海軍省にて國家に必要の貨物と認むれば輸入を特許する事となり居るに付絕對的に逆荷し得ざる貨物は存外少なからずやと思はるゝを以て也從つて朝鮮貿易も如何程の打擊を受くるやと云へば無論軍需品として供給しつゝある皮革製品並に朝鮮米は何等の影響なかるべく個人取引として驗出する米は入禁となる譯なれど若し露國が此の米を食料品として國家に必要のものと認むれば其の仕向け差支へなき事となる唯其の許可を得る期限二月若くば三月方遲延する譯なるもそは第一回の場合のみにて次回よりは順次許可を受け又發送し得べし然れども露國が軍需米以外の米を國家に必要の米と認めざればそれ丈け鮮米の販路を塞がるゝ事となるが其の邊の制限は茫漠として不明に付結局之れを今後に徵するの外なし尙ほ鮮米浦港仕向は昨年百萬圓內外なりしが本年は頗る增加の模樣に付百六七十萬圓より二百萬圓の間にあるべしと

# 馬術天覽

天皇陛下には馬術獎勵の思召を以て三日午後一時吹上御苑に於て馬術を天覽あらせられたり縱百二十間橫十五間の御馬場には金覆輪の鞍燦として紫手綱に照り榮え騎手は木村外當代の達人に主馬寮技手の數名にて競技は純日本式調子乘の母衣引とて肩衣を著け或は陣笠を戴き陣羽織を著け吹流を脊負つて之を地に引摺らざる樣驅走する外に洋風高飛等の御技ありたり(東京特電)

# 英國債券賣出

朝鮮銀行にて取扱ふ

金融調節正貨處分の一策として日本銀行が英國政府發行國庫債券一億圓の引受けをなすに至りしは本紙東京電報の屢報する所なるが朝鮮銀行本支店も亦其の引受け銀行團に加入し內地同樣二日より八日迄英債の賣出しをなしつゝあり其の條件を聞くに種類は一千圓五千圓一萬圓の三種にして利率六分發行價格は平價乃ち百圓に付百圓の割期限は三箇年にて償還は大正八年十二月十五日拂込みは第一回十二月十五日第二回一月十五日なり尙ほ利子仕拂ひは六月十五日及十二月十五日二回と定められ居れり

# 商船校の新設

七年度には計畫を見む

東京電報は二回に亙り明年度元山に朝鮮商船學校の新設を報じ來れるが右に付責任ある當局者の談を聞くに朝鮮人船員の養成は目下頗る必要に付其の育英を主とする商船學校の新設は不急の事業に非ず當局にては其の初年度の新設費を大正六年度豫算に計上しゐたるも度支部司計課にて財政上の關係より削減され明年の新設は目下の所望みなし但し其地點の何處へ決定するかは姑らく措き大正七年度には多分其の新著手を見る事とならん

# 奉天より

▲金鑛十一處發見 吉林省[illegible]家の大損なるも吉林省人民の資力[illegible]少にして之れが經營に當る能はざれ[illegible]

△小頭河△牛拉領河△杜家店△白石砬子△饗磨店△永河△香子河子△大石頭河△小石頭河△南石戶△後沙石戶△西風河子

▲[illegible]間鐵道敷設[illegible]上の見地より其急設の必要を認め左の如き支那資本合同の敷設案を立てたり[illegible]

▲不正兌換の檢擧 張督軍[illegible]を留めざるに至りたり從來奉天にかける取引は此の經紀の存在に由り[illegible]きも目下支那側に於て兌換制限の結果貨幣甚だ鈔なければ大口の取引を行[illegible]中の事は[illegible]報したるが吉林、郭省長は同省に於ても同樣の出來事多き[illegible]三省支那側は日支交涉の[illegible]案問題に就きて神經過敏となり既設の我警察[illegible]

# 朝鮮のセメント原料

小野田セメント會社の朝鮮分工場設置に付ては既記の如くなるが右につき某專門家技師の談を聞くに朝鮮に於ける石灰土は今回小野田の分工場を設けらるゝ寺洞附近を始め其他全鮮至る處にありて而かも其土層は一箇處に多量堆積し居れるため原料採取上の費用を節約し得る便利あり故に朝鮮に於て將來大工業として發達す可きものはセメント製造業と耐火煉瓦の製造なりとす小野田會社が寺洞に分工場を設けて製造を開始せば年產額二十五萬樽以上の產出力を有すと云へば全朝鮮(大田以南は近料の關係上當然內地より移入せらるべきも)の需要を充して尙餘りあるべしセメントは戰前に於て一樽三圓なりしも今日にては七圓乃至七圓五十錢の騰貴を來し今後是等の價額を持續するものにあらずとするもセメントは朝鮮の工業生產物として有力なる地位を占むるに至るべし殊に近來內地のセメントが南洋或は支那大陸に向つて年々多大の輸出を爲しつゝある際なれば朝鮮セメント業の殷盛を來すに至らば此方面に向つての輸出も有望にして進んでは露領方面の需要にも應し得るに至るべし

# 鑛稅收入激增

大正五年度に於ける鑛稅豫算額は既往の實收入額に鑑み登錄及び出願手數料を十四萬圓、鑛區稅並に鑛產稅を六十萬圓とし總計約七十五萬圓を計上したるが近時鑛業の勃興は著しく其の稅額を增進し四月以降九月までに於て登錄及び出願手數料の如き實收入額既に二十九萬餘圓に達し豫定の倍額以上を示し居れるを以て年度內には少くとも豫算の三倍を下らざる可く鑛稅額亦た相當增進を見る可き趨勢に在り

# 人蔘輸移出の趨勢

輸移出額と輸移入額=出入增加率の比較=輸移入蔘の逆移出

▲人蔘の輸移出額は追年增加の趨勢に在り而して其の輸出地は支那を第一とするも布哇、馬來半島、米國、新嘉坡、香港等亦た年々多少の需要あり殊に內地への移入は近時逓增の傾向あるが這は少許の紅尾蔘を除くの外は何れも白蔘にて紅蔘は皆無なり今本年一月以降十月末に於ける輸移出額を見るに白蔘二千三百四十七斤餘、白尾蔘四千五百四十一斤餘、紅蔘二萬八千八百七十五斤の外專ら支那に輸出さるゝ山蔘及び水蔘を合し總計三萬五千八百七十三斤百十四匁にして此の鑑定價額百三十萬四千百八十餘圓を算し之れを前年中の輸移出額に比すれば數量に於て一萬一千七十六斤、價格に於て六萬一千五百十二圓餘の增加を示せり。而して

▲朝鮮輸移入人蔘も亦た比年增加の傾向あり其の種類は白蔘水蔘及び人蔘の三種にして水蔘最も多數を占め山蔘及び水蔘は支那より輸入し白蔘は支那僅少にして內地を主とす、本年一月以降十月末に至る輸移出額は白蔘一萬二千百六十九斤餘、此の鑑定價額一萬七千三百六十二圓餘、水蔘八千二百五十九斤、五千三百七十九圓、山蔘九十六匁百五十圓にして合計二萬四百三十斤五十一匁、此鑑定價額二萬二千八百四十八圓を算し前年中の輸移入額に比すれば數量に於て一萬五千七百九十餘斤價額に於て一萬六千五百二十餘圓の激增を示し輸移入の增加率は輸移出の增加率に比して遙かに大なるものあるは瞩目す可く而かも此等の輸移入蔘は其の一部は鮮內に於て消費さるゝも其の大部は朝鮮產品として土產等に依り內地に逆移出若くは再輸出されつゝあるが如し

# 仁川倉庫充實

十一月より米穀の出盛期に入りたるを以て奧地よりの廻著日に〳〵增加し來りたるが此れ相場昂騰の趨勢を示せると地方農民の納稅期に際したると金融狀態依然として緊縮し居るとを以て失落を豫想し乍らも放賣を餘儀無くされ居るに原因するものなり然も大連青島方面への輸出は相場出合はざる爲め頓に減じ內地は氣勢良好なるも輸送力不足の爲め移出を閉塞して爲に著しき滯貨を見るに至り加之七八限大受渡前の在庫米五萬石は露國品として目下精搗中なるも其大部分は依然在庫中なれば仁川に於ける各倉庫は何れも充實の姿にて近年稀有の在穀といふべし今穀物協會調査に係る十一月末在庫高につきて見るに玄米十一萬九千百四十叺白米九千六百四十二叺大豆四萬二千百九十二叺小豆五千二百九十七叺小麥一萬千六百五十四叺荏子千七百五十七叺籾四千六百俵其他千四百五十二叺にして此れを昨年同期に比すれば實に玄米は八萬四千九十叺白米七千二百叺の增加を示せるが今後尙ほ輸送力不足し大連方面の相場出合はざる場合は奧地よりの米穀滔々として廻著し來らば仁川の各倉庫は遂ひに之れを收容し能はざるの狀態に立ち到るべしと(仁川)

# 大阪對朝鮮貿易

總督府理財課調査に依れば本年十月に於ける大阪港の朝鮮移出入貿易總額は三百四十二萬四十七圓にして之を前月に對比すれば二萬五千五十一圓を增加せり其內移出額は二百九十萬八十九圓にして前月に比し七千百四十八圓の減少を示し移入額は五十一萬九千百五十八圓にして前月に比し三萬二千百九十九圓を增加し結局二百三十八萬千七百三十一圓の出超を見たりと

# 漢湖農銀新穀貸付

漢湖農工銀行本支店にて各地新穀出廻りに資金に貸出し居る總額は最近調査約三十萬圓の多額に上り尙ほ漸增の模樣なるが鳥致院論山大田各支店最も活動しつゝある由

# 仁川廻著の米穀

十一月に入りてより仁川港廻著の米穀類は非常に增加したるが其重なる出荷地及び數量を擧ぐれば米は重に天安、烏山、沙里院、鳥致院、郭山、平澤、水原、沃川、龍山、江景、大田、伊院、定州、南大門、東林等各方面よりの廻著にして約五萬叺に及び鎭南浦、群山、木浦方面より船便にて入津せる約六千叺は多く定期受渡米に提供せられたり籾は黃海道、忠淸道及京畿道沿岸より帆船に依り入津したる者約十二萬俵に達せり此外大豆、小豆、小麥、荏子等の雜穀は南大門、江景、鐵原、黑橋、中和、沙里院、定州、海州、木浦、平壤、新義州、元山等より鐵路及び船舶にて廻送したる約一萬七千叺に達したり(仁川)

# 咸南鯖魚豐漁

咸鏡南道元山港は近時稀なる鯖魚の豐漁を見十一月十一日より二十一日に至る間に於て元山魚市場に引揚げたる數十八萬尾の多きに達し尙續々漁獲され其價格初一尾十二錢乃至十六七錢なりしが昨今は四錢內外にて取引されつゝあり捕獲場所は虎島附近最も多し猶之れが販路は市內及び京城方面にて其大部分を同地方面に捌けりと

# 蔚山捕鯨好況

慶尙南道蔚山郡長生浦に根據を有する東洋捕鯨會社の本年出漁船數は六隻にして九龍浦及び江口沖合約三四十浬の處を漁場とし居れるが成績良好にして十月一日より十一月廿五日迄の捕獲高は平均長さ六十尺の長鬚鯨八十四頭に上り昨年に比し約三割の豐漁なり而して價格は一時虎疫の打擊を蒙りしも油類騰貴の爲め全體より見る時は是れ亦昨年に比し約二割方の騰貴なれば本年は非常の好況を呈し居れり(釜山)

# 海鼠漁況

仁川水產組合出張所管內に於ける潛水器使用者は五名なるが中四名は目下黃海道大青島白翎島方面に於て海鼠の漁獲に從事しつゝ有り其成績を聞くに例年十一月頃には海上危險なるを以て出漁せざりしが本年は極めて平穩なりしを以て秋漁に引續き從事したる處意外の水揚げをなしたる由にて歸仁の上ならでは精確なる成績を知るを得ざれ共例年に比し約三四割方の增收ありたる模樣なり殊に支那貿易の好調に伴ひ普通百斤四十五六圓の海鼠も六十圓以上に騰貴したるを以て從漁者の喜色溢るゝが如く歸仁は十二月上旬なる可しと(仁川)

# 京城局事務概況

最近の調査に係はる大正五年度上半期(自四月至九月)京城郵便局業務概況を聞くに左の如し

一、通常郵便物

| 種別 | 個數 | 一日平均個數 |
|---|---|---|
| 引受 | 六、四三六、五五三 | 三五、一六八 |
| 配達 | 四、九五三、四四三 | 二七、〇六八 |
| 逓越 | 三、七六三、六三二 | 二〇、五三〇 |

二、小包郵便物

| 種別 | 個數 | 一日平均個數 |
|---|---|---|
| 引受 | 四四、六三三 | 二四三 |
| 配達 | 五六、四四五 | 三〇八 |
| 逓越 | 一二九、一三三 | 七〇四 |

三、郵便爲替

| | | | 一日平均 |
|---|---|---|---|
| 振出 | 口數 | 二四、四四〇 | 一三三 |
| | 金額 | 一、〇四〇、八四三、三五三 | 五、六八七、〇七〇 |
| 拂渡 | 口數 | 五九、九三八 | 三二七 |
| | 金額 | 八二六、七六五、五六〇 | 四、五一八、一六八 |

四、郵便貯金

| | | | |
|---|---|---|---|
| 新規預入人員 | | 一、四〇九人 | 七、八七 |
| 預入 | 度數 | 一六、三三二 | 八九 |
| | 金額 | 一七七、三九一、七三〇 | 九六三、三四七 |
| 拂戾 | 度數 | 六、六四三 | 三六 |
| | 金額 | 一四一、三九九、一四八 | 七七二、一三六 |

五、振替貯金

| | | | |
|---|---|---|---|
| 受入 | 度數 | 七、九九九 | 四三 |
| | 金額 | 八、三五九、九〇一、八四一 | 四六、三八三、六六八 |
| 拂戾 | 度數 | 六、九九三 | 三八 |
| | 金額 | 三、三〇九、一八〇、九八〇 | 一九、一二七、八五三 |

六、各種現金總計受拂高

七、電報通數

| 種別 | 通數 | 一日平均 |
|---|---|---|
| 發信 | 一四八、八五六 | 八一三 |
| 著信 | 一四八、八一七 | 八一三 |
| 中繼 | 一八三、五〇五 | 九九七 |
| 計 | 三、三四八、〇三三、四八八 | 一三六、八六五、四四三 |

# 鮮銀兩出張所成績

本年九月十五日より開業せし朝鮮銀行營口出張所及び本年七月十五日より開業せし同行哈爾賓支店に於ける十月三十日現在營業成績を聞くに營口出張所は預金七萬七千圓貸出金六萬七千圓にして哈爾賓出張所は預金四十七萬四千圓貸出金四十三萬四千圓に達せりと

# 電信事務繁忙

近時各地商況の活氣を帶び殊に米豆の出廻り旺盛を告げ其の取引關係等多忙を極むる爲め內地朝鮮間の電報並に朝鮮各地相互の電報激增し京城局の如き一日の取扱ひ高發著中繼合計一萬四五千通に上り例年の歲晚以上に及ぶ數にて鮮內の總數は平年の約三四割方の增加なりと

# 年賀郵便取扱

遞信局にては例年の如く朝鮮內各郵便局所をして來る十五日より二十九日迄年賀郵便の特別取扱ひを開始せしむる事となり既に其々準備中なるが本年は市況活氣を帶び一般の景況良好なれば其の取扱數も例年よりも著しく增加すべしと

# 釜山武官來任期

海軍水路部長より朝鮮總督府附武官に任せられたる釜屋海軍少將は森前武官の東京に於て事務引繼を了したる後赴任の由なれば愈々著任を見る迄には尙ほ十數日を要す可し

# 新義州稅關貿易額

新義州稅關十一月中の通關貿易額は總計五一七五四九圓にして內輸移出二七二四〇一圓輸移入二四五一四八圓なりと因に昨年中當稅關貿易總額は五百十餘萬圓なりしが本年は多分十二月末迄には七百萬圓以上に登るべしとなり

# 人事消息

▲大西鬼三雄氏(大邱農學校長)三日夜入京不知火旅館へ ▲佐藤行久氏(光州農學校長)同上 ▲伊澤良立氏(日本製糖會社取締役)同上巴城館 ▲武田總一郎氏(水原模範場技師)同上 ▲宮原忠正氏(同上)同上

# 南言北語

ブカレストも益々危險になつたマツケンゼンは今やブ市から僅に十二哩の地點に迄進んで居る▲ファルケンハインは三十哩の地點迄進んで居る▲而し乍ら此の危態は羅軍がワレキアに於る失敗と▲獨勃軍がドブルヂヤに進擊した事と相關連して羅軍がアルプスの諸隘路から撤退した日に於て既に豫想されて居たのである▲目下の處羅軍はブカレスト要塞とプレデアル隘路を連ねる線に退却して敵を邀擊するより他はなからう▲一體ブカレスト要塞は白耳義の築城家ドギス氏が構築した獨特の最新式要塞である▲而し如何に堅固と雖も未だ實戰をした事はない▲殊に獨軍の四十二珊砲に對して果して何れ丈けの抵抗力があるのか些と疑問である▲が、如何に獨軍強しと雖も短日月を以て攻落させる事は難事であらう▲獨軍側にあつても此の堅砦を攻落させるに多大の兵力を損失した上に更に之を越ゑて深く侵入し却て窮地に陷るが如き愚はすまい▲其處で今後の戰況はブカレスト要塞とプレヂアル隘路とを連ねる線で塹壕戰となり東西兩戰場同樣の戰勢となるに相違ない▲其の時に當つてニコライ大公が露羅軍四十萬の總帥となつて多惱河畔で決定的戰爭をすればまだ〳〵羅馬尼も世間で云ふ程の危險ではない▲其れに付けても希臘の聯合軍敵對は面白い▲其の之れあるが爲の瓢簞鯰であつたが▲聯合軍も愈々甲を煮したか已に衝突を始め聯合艦隊は雅典に砲彈の洗禮を與へて居る▲羅國倒るか希臘亡ぶるか近頃以て趣味深き戰爭ではあるまいか

▲諸機關を鋭意刷新し取引正確と計算公明を誓ひ可申候
▲地方顧客の御注文は證據金電報爲替付願上度候
▲弊店營業案內は直ちに御送付可仕候
大阪株式取引所仲買(大阪市東區北濱二丁目)
奥田淺治郎
電話本局 長一九八番 長九七八番 長一九九番 長三三四番

南滿洲鐵道株式會社東亞經濟調査局編纂
經濟資料 十二月一日號
要目
■露國砂糖專賣法案■戰爭と米國交通■獨逸國營炭坑の勞銀割增制度……■戰爭と列强外國貿易の資料■戰後に於ける獨逸のダンピング■歐洲戰亂と英國政策■佛國の新財源■戰時世界商船建造事情……■迅速なる米國港灣の發達■香港戰費出資額其他數題
◀每月一回一日發行▶ ◀定價一部二十五錢▶ ◀半箇年一圓四十錢▶ ◀一箇年二圓七十錢▶
發行所 外交時報社 東京麴町區下二番町六八(振替東京六〇二〇)

坪內士行君著 中判總美本寫眞八枚入 □定價七拾五錢 郵稅六錢
なすな戀
『戀よ戀。われ中空になすな戀』昔紫鉢卷の保名は蝶を追ひ長袴蹈みしだいて無き妻戀しと片袖に狂ふた。これは當世の青年が古めかしい戀に悶え茅屋の病床に娘を殘して太西洋三千哩の海波に送られての物狂ひである。とりわけ兩人共に新舊思想の間に挾まれて『うつゝなの妹脊中』とかこつ胸、飾らぬ愚痴、僞らぬ熱情、それは未練の心の變轉。娘が生と死との間に迷ひ此世に文面の一々に見給へ、戀を呪はしと見る者の心根を知る爲めには

最新實話 獨探
松本鐵之助君譯
本書は英國に於て驚駭的大歡迎を受け警世的著書として出版界未曾有の反響を惹起したり。其內容は頗る波瀾曲折に富み、戰慄すべき獨探の悪辣兇暴なる手段と方法は、讀んで面白く怕ろしき以外何物かを讀者に暗示せむ。獨探に惱まされたる英國は本書に依りて甚大の教訓を得たり、敢て此の一大奇書を江湖大方に薦む。
東京市本町 博文館發行 振替東京二四〇番
中判美本三百三十頁 正價六拾五錢 郵稅六錢

醇良無双清酒
有薰
登錄商標
無害衛生 品質無双
首藤合名會社吟造
精白米卸小賣 キリンビール サッポロビール 醬油 龜甲萬 各種 シトロン 三矢 布引 サイダー 各種
朝鮮發賣元 首藤京城支店 黃金町(電話一一七一番)

日韓書房 新版報告
虛子著 俳諧師 正續合本 定價一圓六十錢 送料十二錢
仲小路廉著 強者の天地 定價一圓 送料十錢
米國通大家執筆 米國研究 定價一圓 送料十二錢
本多日生著 法華經講義 定價一圓八十錢 送料十八錢
新渡戶稻造著 自警 定價一圓五十錢 送料十六錢
京城本町二丁目 電話一一五一番 振替口座四五二

…得たり斯る富鑛を地下に委棄し…或は之を外人の手に歸せしむるは國…如しと
[illegible]回か其施設を計畫されし者なるが最近北京政府は支蒙交通上又對露政策中なりと
上記提案を以て目下外交政府と會商…るより一日には最早逮捕す可き一人…斯る奇怪の現象は或は近く消滅す可
…て日本人の手に歸する者多き…爲め資本金百萬元の官貨局設立準…

▲農安の警察問題
昨今東…門札の撤廢を要求中なり…て農安知事は故障を申込み…

# 馬賊除けの旗立て
## 哈爾賓長春間の馬車輸送
## 違約金を當てに大注文する猶太人

松花江の流れは二十五日の寒さにすつかり凍結して了ひました、私が京城から往つた二十二日まではまだ碧い流れが見られて居たのに、北滿洲も

■いよ〳〵冬になり

ました、哈爾賓驛の頭目は昨の如く外國貨物が山のやうに積まれてあつて殊に奥地の滿洲里が甚だしいやうです、また哈爾賓市場の日本製メリヤス類は何れも貨物停滯の爲め投げ賣りをするので値段に却つて大阪より廉い位ゐです、先般來露西亞が浦鹽港の輸入商品を禁止するといふ噂があつてから氣早の商人は貨物を大連に廻した向もあるので

■猶更に貨物の停滯

を來したやうです、昨今長春では同地と哈爾賓間の貨物輸送を支那馬車でやらうといふ計畫もあるやうですが馬車は一臺二噸積みで一臺の運賃三十圓を要する見積り、目下長春に在る六百臺の貨物を輸送するには容易の業ではありますまい、随つて長春哈爾賓間東清鐵道の運賃を見ると一貨車約百留、それに六十留の特別な金まで要るので或は

■馬車輸送も成功す

るかと思はれます、そして是等の馬車には皆馬賊除けの旗を樹て、安全に往復して居りますが旗は馬賊の頭目に一定の税金を納めた上に貰ふものでこれさへあれば彼等の襲撃を被ける心配はありません、併し手前の貨物輸送は出來ても奥地の輸送が捗らなければ駄目な話しで先般東清鐵道の主腦者を招待して東清線に約六百臺の貨車を

■増すことに相談が

出來たと稱せられて居ますがこれもなか〳〵捗しからぬやうです、元來露西亞のやり方といふものは實に日本人などに想像もつかぬヌウボー式で貨物列車の如きもドシ〳〵引込線に打込んで居いてそれを何百臺でも續けて駛らせるといつた風ですから何うも機敏を缺ぐといふ風が見えます、假りに露西亞が西比利亞線の輸送を日本に請負はせたなら面白からうと思はれる位ゐです、目下

■西比利亞の奥地で

は燐寸の小さい一個が五錢以上米一プードが十三留といふ天井値段で殆くの外はありませぬ、目下の如く鐵道の輸送が不充分では荷主と銀行の間には爲替取引の圓滑を缺ぐ厭ひもあり日露貿易の一大障害であると思ひます、それに近來注意すべきは露人殊に猶太人の一部には違約金儲けの目的で滅法界の大注文を試み

■假りに一萬圓の品

でもこれを十萬圓にして十日に注文する手合があります、彼等は豫め日本の生産力と輸送力と金融狀態を調査した上でむづかしい注文を出しますから邦商の中にはうつかりこんな注文を契約して露商の惡辣手段に引かゝつた者もあるやうです、殊に露西亞の商習慣では違約金は手付金の倍額にして支拂ふといふことになつて居ますので注意を要することゝ思ひます（露西亞物産主任香木氏談）

# 陸も海も 穀物の山
## 昨今の仁川港

冬枯れて行く仁川に強い脈搏を與へるのは米であるが、昨今漸く出盛つて海路陸路から陸續廻著する米は日に數千俵數萬叺を數ふるの盛況を呈して幅員十間延長數百間に及ぶ計量場も穀物協會前の船溜りも棧橋附近も米は山と積まれ

◆人は波こ 群がつて其の喧騷さ目覺しさは一通りでない殊に海岸通りには此の雜踏を見込みに鮮人の古洋服屋古本屋等の露店から柿密柑栗、おでん、餅等を賣る者等數十を數ふると謂ふ景氣で更に計量場棧橋附近に至つては仁川港ならでは見られぬ

◆混亂の狀を呈する、船は重に黄海道忠淸道沿岸及び江華島方面から籾大豆の類を積んで入津するのであるが滿潮時此等百數十艘の舟が必死となつて先を爭ひ潮に乘つて船溜りに乘り込む爲め艫々相摩し舳艫相觸れ

◆舳は衝突 して非常な混亂の狀を呈する、そして棧橋に著け得た者は直ちに荷役を終へて干潮に乘つて引揚げ後れた船は次の滿潮時に棧橋に著けねば荷揚げが出來ないので毎日午後二時三時頃の滿潮時には船溜りは戰場と變りが無い

◆棧橋から 荷揚げした籾は倉庫前の廣場に積み賣買が濟み次第或は倉庫に納め或は工場に運ぶのであるが昨今倉庫は滿契の上に出盛りの旺盛の結果氣勢が軟弱で

◆荷の澁滯 夥しい爲め中には賣買が成立せずに空しく船に積んだまゝ一週間も商機を逸して居る者もあるので棧橋附近の混亂は極度に達して居る（仁川）

# この頃 多い訴訟沙汰

債權債務に關する仁川支廳民事部では年末になると例年債權債務に關する受理件數は大分增加するが是れは債務の履行を荏苒として居た者が年內に解決を迫まられても應せぬ爲め債權者が强制執行か又は財物の保全手續として假差押への訴へを提起するに依るもので大底は小額の訴訟である、仁川支廳に於ける民事訴訟には居留民の種類が多い丈けに外國人が當事者となつた訴訟には一寸毛色の變つた事件もあるが些し金額の多いとか錯雜した者になると京城でなければ扱はないので單獨には興味ある複雜した訴訟は殆んど無いと言つても宜い昨年中に於ける受理件數は四百三十九件で其中內地人間が百三十九件鮮人間が二百十件內鮮人間が七十一件內地人對獨支人間が十四件鮮人對支那人間が五件であるが然して歲末になつてから多いのは內地人間及び內地人對鮮人間であるが五六割迄は取下げ和解となる樣であると某書記は語つた（仁川）

# 動物諸君
## ネツキ

動物園の門を這入つて左側、內地狐の夫婦者三匹は門番の守衞さんを誑かしもせずおとなしく暮して居る、頃日歐洲婦人の頸巻には狐の毛皮が大流行とのはなしなれば一番狐を飼つて狐成金にならうかと思ふが大事の札束が柵の巢となつては聊か考へもの支那に近いから金毛九尾の御親類も居るかも知れぬ、守衞さん曰く一狐の食事には毎晩牛肉百匁內外、種類は西比利亞、滿洲、朝鮮、內地共あまり變りはぬと申します、廢寒空では見物の客足も減りますが動物共には誂へ向きかと思はれます見物の中でも小學校の生徒はさすがに無邪氣で小父さん狐の歯は何本あるの？と訊かれた時には一本參りましたね、子供の質問は面白いものです—尤も私共は餌をくれるだけの役目ですが………

# 大金を横領して賭博

京城黄金町一丁目李敏卿方雇人朴敬賢（三八）は大正四年舊三月頃より雇はれ中本年十月八日雇主より水標町洪忠鉉に對し債務辨濟の爲め現金一千七百八十三圓及び漢城銀行引受の四十圓小切手一枚を受取りたるも洪忠鉉に於て計算額に相違ありとて受入れざるより敬賢が保管中敬卿は黄海道地方に出張したるより敬賢は知己なる茶屋町居住の張華柱（三八）と共謀し變の小切手を現金にて引出し同月九日合計千八百餘圓を橫領して同夜より十一日迄外三名と右の金にて賭博をなしたる後敬卿の自轉車一臺（百圓）をも竊取したる上同月十二日北鮮地方に向け兩名共逃亡したるも遂に捕へられ京城地方法院にて兩名共各懲役一年の處分となれり

# 星州展覽會の盛況

探險畫家三道星州畫伯の作品展覽會は二日三日兩日日本社樓上來青閣に於て開催せられ二日間の觀覽者無慮四千名此の種の會としては京城に於ける新レコードを作れる大成功を得たり陳列作品五十二點の內大小作品を合して二十六點を希望者に頒ちたりこれ亦京城に於て未曾有の事に屬す本社は滿蒙大陸の風物を紹介し能ふ限り此の方面の知識を普及せんとしたる目的を豫期以上に達したり因みに星州畫伯は明年一月下旬まで龍山元町三丁目に滯在し取掛りある作品を完成し黑龍江及び沿海州方面の探險に向ふ筈なり

# 釘六樽を盗む

福井縣丹生郡荻原村生れ住所不定渡邊秀治（三七）は前科二犯あり龍山漢江通り鏑多商會出張所に雇はれ中七月末より九月末迄に數回に亙り建築工場より亞鉛板七十五枚釘六樽餘（三百四十餘圓）を竊取し京城中學洞居住大阪府北河內郡板野村生の印吟勝次郎（三七）と共謀して同人をして是が處分をなさしめ鳥取市丹後町生れ黄金町一丁目居住吉田豊藏（四〇）黄金町一丁目住山口縣大島町家室西方村生れの大工叶井助右衞門等と共に賭博をなしたる一件は京城地方法院にて秀治は懲役五年勝次郎は同八箇月及び罰金三十圓豊藏、助右衞門の兩名は各科料十圓の處分となれり

◉竊盜少女は執行猶豫 二日の本紙に未俑しき少女と題して記載したる釜山富平町三丁目平井末太郎方女中澤田さよ（十七）は釜山地方法院に於て公判に附せられ審問の結果檢事の同情ある論告にて橋本裁判長より懲役八月に處し三年間刑の執行を猶豫すべき旨宣告さる（釜山）

▲駐劄軍々醫部長佐藤博士はこのごろ獨逸からの雜誌や書物が來ないといふてこぼして居る▲書物屋の代理店は瑞西にあるけれども多くは途中で英佛の檢閲に押收されて了ふから一向に來ないと▲二日の憲兵警官聯合大運動會の假裝行列には思ひ切つた奇抜なものが幾つもあつたが其內本町警察署の某巡査が深編笠の虛無僧姿になつたのは眞物泣かせの出來榮であつた▲が警官の變裝したのは何の位の程度迄看破し得るかといふことを試驗の爲め其の儘の姿で其警官を知つて居る二三の家の門前に立つて例の尺八を鳴らしたが誰一人看破する人がなく一二錢の合力があつた▲是れは眞んの試驗的に演つた一幕なので『私は巡査の化物ですお惠みのお錢は返します』と當意即妙の答は振つてゐた

# 玄室には夫婦二人の棺
## 土城に發掘した古墳——關野博士の談の二

土城附近の古墳の特徴は稀れに平底の地に在るものもあれど概して高燥の地を選びて埋葬したるが其の一つにして其の形は漢の古式に由り平頂なる方臺形を爲して居る此の方臺形の陵墓は周の時代から後漢の時代まで續いた墳墓の形式である、土城附近の古墳は何れも

◇千餘年の 星霜を經て其の周圍は崩壞して居るが中には明かに其の方臺形の原形を留めたものもある、此の古墳には何れも內部に廊を設けて其の中に棺を納めてある而して廊に木製の廊と塼死して築造したとの二種ある木廊の龍短なるものは龍岡で發見したもので廣さ四尺五寸長さ十尺八寸高さ五尺許あつて中に木棺を納めてあつたそれより稍

◇複雜なる 木廊には中央に柱を有するものにて床と天井とは七八寸の厚さの板張りに成つて居る周圍には壁を塗り木廊の外は全部粘土を詰めて雨水の浸透を防いで居る更に進步したものは床板の下一面に石を詰め他の周圍にも全部栗石を詰めたものもあり更に木廊と詰石との間に木炭を塡充して濕氣を防いで居るのもある木廊は既に悉く腐朽して居るが多少の痕跡を留めて居らぬ處はない

◇土城附近 の古墳の多くは塼を以て築造して居る塼廊の構造は四方の壁を張出して土壓を防ぎ天井は穹窿形に積みあげ床も塼を以て疊みたるものである而して廊內の室を玄室と稱し棺は其の一隅に安置し他の室內は副葬品を納めたる處で玄室には多く夫妻二個の棺を納めた形式あり此の玄室は前室後室の二つに區分されたるもの又は

◇更に側室 を有し三個の部室に區劃されたものも有る木廊の墳墓は縱穴に屬し塼廊の墳墓は橫穴に屬すべきものである其の構造法は木廊は地上を掘り下げて廊を組立て納棺の後屋根を覆ひたるものである塼廊は地上に塼を以て廊を築造し天井は穹窿形又は七八寸經の木材を並べ床は塼を以て網代形に疊み三方及び天井上に土盛を爲し羨道の一方口のみを開き置き

◇納棺の後 羨道を密閉して墓陵の外形を修築したるものである塼は支那民族の古くより製造して建築に使用したるもので其の最初は周代に始まり前漢の時代には既に其の時代の年號を彫刻したるものさへも多く發見されて居る樂浪時代の古墳の塼にも表面には樣々の模樣が有る曲線のみのもの唐草模樣の如うなもの或は幾何學的の模樣などが刻んである文字には王平、王宜、王等の

◇文字の刻 んだものがあるしかし文字は模樣よりは希にして其の種類が少ない塼廊は後に至つて朝鮮人より塼の必要から屢々發掘されて其の廊形を破られ且つ塼廊の墳墓は凡て副葬品を盜み去られて居る之れは塼廊なれば其の底床まで掘れば必ず副葬品に行き當るが木廊の墳墓は穴の深きのみならず

◇木廊腐朽 して副葬品を探すに便ならざるに由り遺物の多くは木廊古墳より出て居る。

# 懸賞 新年文藝募集

課題 ▼和歌『遠山の雪』▼俳句『松飾』▼川柳『寶』▼俗謠『正月』▼ものは付『新しい物は』▼一口噺『新年に因めるもの』▼下句付『謠ぞめ』▼謎『新聞とかけて』

制限 一人に付一題一首又は一句、但し一人にて幾題投稿するも可し（用紙）葉書又は同型の紙（〆切）十二月二十日（注意）題毎に別用紙に認むる事『京城日報社編輯局 新年文藝係』に宛て送附する事

賞品 各題に付●一等一（一人）●二等五十錢宛（二人）●三等三十錢宛（三人）（但し本社代理部の相當圖書切符贈呈）

# 染めたと見えぬ 髮の染方

從來の人の染めた髮を見ると、色澤が何にも際立つて態とらしく、一見染めた一般の人の髮と違つて、其上其變な黑い色が首に附き枕に附き、觸る物何にでも附くと分ります。直に剝げて終ふといふ工合で、自然の美い髮の毛のやうな色澤に染る染毛劑は在ませんでしたけれ共其の後染毛劑は追々進步して以前のから見れば稍良いものが出始めましたがまだ〳〵自然の髮の樣に都合よく染らぬ、染め度い事は染め度いが染色が餘り不自然で判然目立つので困ると言つて遂ふ有樣でした。毛を染める必要のある人々が斯うして何非常な不自由を感ぜられてゐた所へ、漸う完成發賣されたのが現今最も進步した白髮赤毛染として各家庭に賞用されるナイスです。成程專門の學者が長い間研究を積んで完成した丈けあつて、ナイスで染めると少しも態とらしい所が無く何うしても染めたとは見らず、丁度生れついて毛の美い人の髮のやうな色澤に染まつて、束髮でも日本髮でも非常に結榮ねがし、又年とつた方にでも少しも不似合の事が無い自然的の色澤に染まり』其上染方は何の造作もなく、時間は僅か二十分で染上り、保ちはよく、外へは絶對に附きませぬから、今では白髮染といへば何人も大阪丹平商會發賣のナイスで髮を染めるのが極のやうに成りました。一度ナイスを使つた方は、二度再びと外の染毛劑をお使ひになりません、もしも未だナイスを使つた事のない方は早速試して御覽なさい乾度御滿足なさるに違ひありません。ナイスが染毛劑中で如何に優秀なる品質を有する歟と言ふ事は、各地の大博覽會に出品して毎も公明なる審査の下に最高の名譽賞なる金銀牌を受領せる事に依て證據立てる事が出來ます。幾多の染毛劑中でかゝる光榮を得ましたのはナイスのみであります。發賣元は有名な健腦丸本舖大阪心齋橋、東京日本橋沿屋町 丹平商會で價は男子用卅錢小瓶四十錢大瓶七十錢取次は各藥店化粧品店、僅の違で廉い染毛劑を買て御後悔遊ばすな。

价川輕便鐵道 列車時間表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 价川發 | 前六、〇〇 | 九、〇五 | 後十二、〇五 | 二、四〇 |
| 新安州著 | 前七、五五 | 十一、〇五 | 後二、〇〇 | 四、三四 |
| 新安州發 | 前九、一〇 | 後十二、二〇 | 後二、四五 | 五、三〇 |
| 价川著 | 前十一、〇三 | 後二、二三 | 四、三七 | 七、二八 |

銚子港 田中玄蕃釀造 ヒゲタ醤油
代理店 發賣元 櫻正宗 京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金京城七五番

眼科內科小兒科 京城黄金町三丁目赤門通（電話四四三番） 入院隨意 本田醫院 院長 本田建義

電氣すき燒 相始め申候
冬期のお食事はお手輕で溫かいすき燒に限ります殊に今度特に取り寄せました電氣爐にて電氣應用のすき燒は他に類の無い理想的なものですお試しを願ひます
旭町一丁目公園下（電話二九一〇・一七一四番） 松秀庵 白水
尚平素御愛顧の御禮として兩店共特に勉强仕候間忘年會等は多少に不拘御下命願上候
南大門通三（電話二五七一番） カフェータイガー

菱印 窓硝子
三等品 邸宅用は是非此品に限る
四等品 通常舶來と稱し需用最多
五等品 即ち松印は經濟向に限り御使用を乞ふ
兵庫縣尼崎市 旭硝子株式會社

ストーブ各種
輸入金物商 京城本町一丁目 佐野彦商店 電話一六三番・振替口座京城一二〇番
地方よりの御注文の節は迅速に御送付申上候

# 怒濤の月

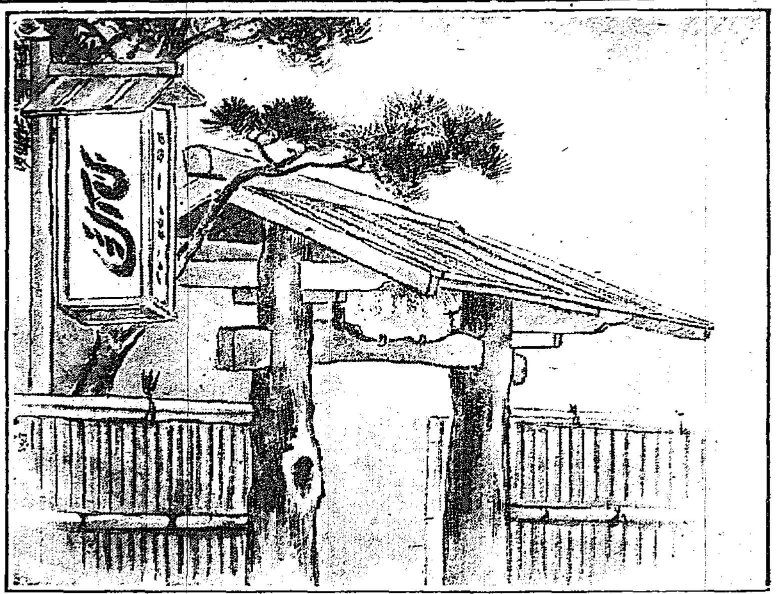
小林蹴月作 武内桂舟畫

## 二 女の行方 【三】の二

『ヤツ、絹さんだね。』

幸三郎は、眞個我を忘れて、聲を掛けたのである。俥上の絹代は、幌の中から、ほんのちらりと覗くやうに爲て、幸三郎の姿を見掛けたやうでもあつたが、車夫は、勿論そんな事に氣付ふ筈はなかつた。韋駄天の如く宙を飛んで、幸三郎の眼前を馳せ過ぎて了つた。

然し、此の一刹那の間に於て、幸三郎の眼に只ツた一ツ判然と映じたものがある。それは、絹代が是まで



に見た事のない美しい華奢やかな衣服を著飾つて居た事と、顔に思ふさま眞白く厚化粧を施して居た事とである。後からつゞいた俥には、什うやら壯い紳士らしい者が乘つて居るやうであつたが、絹代の方にばかり氣を奪られて居た彼には、到底それを見定める程どの餘裕はなかつた。

二臺の俥は、見る〳〵牛込見附を出て、外濠の線を右へ曲つて了つた。

『一體、何處へ行くんだらう？小石川の方面か知ら……本郷だらうか。』

今はもう自分と何等の約束も關係もない女の行先を詮議立てした所で何の甲斐があるものか……とは思ひつゝも、唯不思議に胸騷ぎがして、一種口に爲がたい忌々しさが込み上げて來るのであつた。

『倉橋君ぢやないかね。』

ので、幸三郎は、突然背後から呼び掛ける聲が爲たから振返つた。見ると、小學時代からの友人で、今は某中學校の教師を爲て居る村山一雄と云ふ男であつた。村山は、今學校の退出がけと覺しく、可なり色の褪めた中折帽を阿彌陀に被つて、手には辨當の殼と洋杖を持つて居る。

『おう、村山君でしたね。その後は非常に御無沙汰しました。』

幸三郎は、出來るだけ平然たる態度で、鳥打帽の廂に手を掛けながら答へる。

『いや、僕こそ大變御無沙汰を……御母堂は相變らず御健全ですかな。』

『難有う、別に變りはありませんが、君は今御勤務のお歸りと見えますね。』

『はゝ、は、勤務と云へば、人聞きが可いですが、生活難に追はれて、一時的の學校教師などゝ、來た日には實に悲慘なものですよ。』

『それでも君なんかは、一定の收入があるんだから、安心なものですが、僕等の如き三文畫家となると、悲慘以上の悲慘ですからね。はゝ、は、は。』

『その代り又君方の方には、天地の自然を鍋香みに爲て、理想的の大作を拵へ上げると云ふ大愉快が……。』

と、言ひかけて、村山は、幸三郎の何處ともなしに不安げな落著かぬらしい眼付や顔色を見て取り『倉橋君は今、何か急用でも控へとるんぢやありませんかね。』

『いや、別にそんな事はないんですが……。』

『それなら好いけれども……。』と、村山は、倚合點のゆかぬらしい調子で『大作の事で思ひ出したが、君の例の華厳の瀑の大作は、無論入選したんでせうな。』

『所が、反對の運命に陷つて、物の美事に討死した一件です。今朝あたりの新聞で、多分御覧になつたでせうが……。』

本町一丁目三越向電話一〇四七番
**齒科診療 野田齒科醫院**
齒科醫士 野田應治

『いや、その新聞を今日はまだ詳しく見なかつたので……そりや什うも甚だ殘念至極でしたね。』

村山は、お座なりのみでなく、心から同情を表したらしい殘念げなる容子で、少時は呢と幸三郎の面を凝視めたが、

『道理こそ眉の面色が、平素ほど優れぬと思つたよ。君、變な事を言ふやうだが、幸ひ僕は今日月給日なので、多少嚢底に心得があるんですが、聊か君に同情の意を表したいと思ふから、特別の差支へがなければ、何處かその邊まで同行つては呉れませんか。』

**移轉診療**
京城南大門驛横二見旅館内にて診療中の處患者各位の御便利上長谷川町
十二月一日より移轉從前の通り診療に從事仕候
安東病院外科室に
肛門病痔疾注射專門醫院

『御厚意は感謝しますが、君にそんな御迷惑を掛けても。』

『なに、どうせ大した事を爲るんぢやないから、遠慮は無用です。』

『はゝ、は、飛んだ所で落選祝ひを爲て頂く譯になるんですね。』

幸三郎も、こんな時には眞個酒の一杯も呷つて、落選の不平やら、絹代の問題やらを、幾分でも紛らかしたいと、希望して居た矢先なので、村山の餘り執拗くは辭退も爲ずに、厚意を受くる事に爲たのである。

二人は、打揃つて程近い富士見町邊の只ある鳥料理の二階へ登つた。

### 公州山城吟社句錄

朝寒や蜉蝣流るゝ草の川 友萍
星月夜睦事繁き廓哉 同
乘り遅れて一舟待つや星月夜 孤秋
拔き忘れし風呂の湯氣立つ朝寒し 同
初潮や埠頭に白き檢疫所 奇石
背をたゝく遊女の肩や朝寒し 同
初潮や內海過ぎる弩級艦 神岳
初潮のさし來て鯔や畑へ飛ぶ 不醉
初汐や微風に搖るゝ岸の船 同
星月夜すれ違ふ牛は赤毛なり 如風
初汐に香まれし岩の跡白し 同
椿柿や若き女の黒眼鏡 同
菊の前頭重たふ椀の落つ 可
夜毎〳〵こぼるゝ星や北の窓 死舟
露路出れは郁大路や星月夜 同
蛸壺を追ひ出つる蛸や星月夜 司香

### 新刊紹介

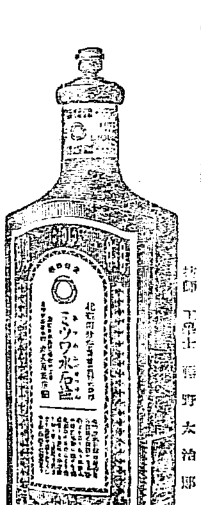
▲菜(九八)十八錢大阪市東區今橋五の一四四四阪共會
▲東京築地活版製造所新見本(十一月號)非賣品東京市京橋區築地共所
▲家庭のローマ字(十二月號)五錢東京市麹町區有樂町一の三ローマ字ヒロメ會
▲法律學報(一の二)五錢東京市神田區猿樂町一の二帝國法科學報社
▲家庭之友(回想と希望迎年準備號)家庭スクラップ欄の十數名士の說明誕祭と忘年會と新年會との三式三樣の料理法、女忠臣藏銘々傳、長編小說木葉舟等面白し(十三錢東京市本郷區千駄木町四九 四方堂)
▲現代之圖案工藝(十二月號)(例の陶器、漆器、染織、玩具等の圖案數葉を卷頭に記事には裝飾に必要なる地方的特色(武田博士)國民的趣味を表す意匠圖案(佐々木博士)及び新年勅題の意匠と引用すべき古跡、賀状に於ける樣な圖案等見るべし(二十五錢東京市赤坂區青山南町二ノ四〇共社)
▲獨立公論(十一月號)十錢ホノルル市マーチャント街キャンベンブロック三〇發共社
▲千代田(十一月號)十五錢東京市淺草區高原町二二共社
▲ゼ、ニユース(五の九)十二錢東京市麹町區內幸町一の四ジャツパン・タイムス社
▲日本主義(十二月號)六錢東京市外巣鴨町一〇八二共社
▲英語精習(十二月號)十五錢東京市芝區南佐久間町一の一共社
▲育兒通信(十一月號)十二錢東京市小石川區林町六四共社
▲東洋時報(十一月號)鮮滿視察談(小松原英太郎)日支提携と新重商主義(尾崎敬義)朝鮮鐵道經營概況(大屋權平)其他(五十錢東京市麹町區山下町一の一東洋協會)
▲現代俳風(十二月號)永田半翁の俳句と評は何ぞや及二松、不市、池花樂天子、暁木、孤道吉堂等の逆句を載む(十二錢東京市小石川區音羽町九ノ一俳風會)
▲新演藝 表紙繪は仁左衛門の伊左衛門にて和樂ららずの稿殘、本號の寫眞は殆んど京阪雨のみにて觀るべきもの多く殊に故右衛門の好子の帝劇出勤あり。市と一層引立ち居り記事には劇壇一年間の回顧、高田實の追憶など始めて發談見たまへ等豐富なり(東京芝公園內玄文社一冊三十八錢)
▲料理講義録(十二月號)目下、西洋、精進一品、支那の各料理別に洋菓子の製法洋食の作法、活花等、茶の湯等の各部門に亘り各料理法を平易に說明し、師に應じて適當なる料理法を平易に說明せり(會費月三十五錢京城旭町一ノ一二八朝鮮料理講習會本部)
▲財政經濟時報(十二月號)鐵道公債募集と國債基金『不多博士』巴里經濟會議の決議に就て『阪谷博士』製鐵國としての日本(横堀博士)我國に於ける窯業の將來(飯野博士)橋造化學工業界の現在(長井長義)工業金融の改善と日本興業銀行(添田博士)等の外幾多の記事依例必讀の好文字(二十七錢東京市京橋區尾張町一ノ一共社)

▲其昔男は山野に行つて獵をし或は戰場に出て搏鬪し婦女は家に在つて草根木皮を採り之を藥餌に供したと物集博士の廣文庫第二冊の七百四十八頁に書てありますから婦人は醫者の元祖でありますのに現今では看護夫程度に下落して女醫なぞは數へる程しきやありませんが新しい女連は先づ醫權恢復を實行する方が重大責務ではありますまいか(古い女)▲家賃取立にばかり嚴にして家屋修繕の方は一向構は無いのは家主が共通に侵された病氣でゞもあるらしいそんなつまらん病氣は早く治して一視同仁に店子を可愛がつて貰ひ度い(長屋住人)▲貴紙に近來漢詩を假名交りの日本文に書き流されるのは大いに贊成です讀者の多くは漢詩の素養が少い爲め記事の內に其儘載せてあると共れを飛ばして讀む樣な不親切な讀み方をする事が多い(若堂生)▲辯護士連の忘年會では淨瑠璃天狗の鼻比べをやるさうだが公開しては如何(赤髯生)

新發賣
本邦人の皮膚毛髪に適する化粧用水石鹼
◎ミツワ水石鹼
技師 工學士 ?野太治郎

MITSUWA LIQUID SOAP.
Very best materials and exquisite fragrance are blended in Mitsuwa Liquid Soap. It refreshes, invigorates and delights as no other soap can. It makes the skin soft, smooth and beautiful, while it will not injure even the tenderest skins.
Price 35 Sen and 50 Sen.

ミツワ石鹼が品質純良にして皮膚毛髪の洗滌に適し、衛生美容の香料となるが如く、◎ミツワ水石鹼も亦優良なる品質を具備せる芳香化粧料なり。從來の普通水石鹼には刺戟甚だしく皮膚毛髪を傷ふもの多きに反し、此◎ミツワ水石鹼は優秀なる原料と馥郁たる芳香料とを以て精製せられ、洗滌に際して隨意に適量を振出すを得、他人の使用せる後にも些の不快を感ぜず、皮脂の分泌多きに而も皮膚粗糙なる本邦人の化粧用水石鹼として、實に理想的の逸品にして、生彩ある化粧を施すに最も好適のものなり。
定價 金參拾五錢 大壜 金五拾錢


(現品縮寫圖)

新發賣
芳香馥郁たる家庭用肌着香水オー、ド、フラール
◎ミツワ花の雫
技師 理學士 甲斐荘楠香

EAU DE FLEURS
made from the best materials by a perfect chemical process, has a delicate and exquisite fragrance. The application of this Mitsuwa Lotion on your underwares, towels, handkerchieves, sheets or into the water when washing or bathing, will be so charmed and quite refreshed.
Price 45 Sen and 70 Sen.

優秀なる原料と馥郁たる芳香と熟練なる技術とを以て精製されたる家庭用香水◎ミツワ花の雫は、温雅なる芳香を有し、清凉爽快の感を與ふる理想的の家庭用品なり、從來の家庭用香水には、徒に强烈なる香を放ち、手巾衣服等に振掛くれば、汚點を殘すもの多きに反し、◎ミツワ花の雫は人を魅するが如き床しき温雅の芳香を有し毫も汚點を殘す憂なく肌著、手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面浴槽等に用ふれば、清凉の感を得ること、本品に優るものなく、各家庭に常備すべき優良なる香水なり。
定價 金四拾五錢 大壜 金七拾錢

(現品縮寫圖)

新發賣
毛髪の營養料頭髪用衛生香水ヘーヤ、ローション
◎ミツワ月の雫
技師 理學士 甲斐荘楠香

MITSUWA HAIR LOTION.
Apply a few drops of the lotion after washing your hair, you will notice the delightful sensation of keeping your hair clean, sweet and healthy. It has a faint, yet delightful smell. It is the best lotion known to remove the dandruff, and stops scalp itching and prevents falling hair.
Price 45 Sen and 80 Sen.

從來の頭髪用香水には、毛髪を傷め又は毛根を害ふもの多きに反し、◎ミツワ月の雫は温雅の芳香を有し、毛髪の營養發育に効ある理想的頭髪用香水なり、優良なる品質を具備し、毛髪の衛生に適する◎ミツワ石鹼を以て、毛髪を洗滌せる後此◎ミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を得、毛髪の發育を助け、毫も之を傷め害ふことなく、色澤を艶美ならしめ、脫毛及雲脂の過度を防ぎ、營養を良くするに特効ある美髪料なり。故に毛髪の衛生に留意し、美髪を欲するものには、實に理想的の頭髪用香水なり。
定價 金五拾錢 大壜 金八拾錢

(現品縮寫圖)

ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥
ミツワ椿油
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元 ◎丸見屋商店
東京市日本橋區橋町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電話營業部浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番
電信略號 ◎ミヤ、振替貯金口座東京七一〇〇番

**解傭廣告**
右者今般都合に依り解傭致候に付爾今當店に何等の關係無之候
大正五年十二月三日
藤延友吉
佐野彦商店

**最上醬油**
朝鮮仁川港
高杉醬油釀造場

**金泉醴泉間自動車時間**

上り 一番 二番
金泉發 前八、三〇 —
龍宮發 九、五五 —
成昌發 一〇、一〇 —
醴泉著 一一、〇〇 —
尙州發 一二、三〇 —
後一、四〇 —

下り 一番 二番
金泉發 前八、三〇 後三、〇〇
尙州著 九、五〇 四、四〇
成昌發 — 六、〇〇
龍宮發 — 六、三〇
醴泉著 — 七、四〇

▲小荷物運搬仕り候
金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

**日本郵船仁川出帆**
○大連、太沽行 三河丸 十二月四日 正午出帆
○大連、秦皇島行 相模丸 十二月十二日 正午出帆
高砂丸 十二月廿一日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

**尼崎汽船仁川出帆**
群山、木浦、釜山、下關、神戸大阪行
○大有丸 十二月六日後四時出帆
○秀吉丸 十二月十一日後五時出帆
○君が代丸 十二月十三日後五時出帆
○神代丸 十二月二十四日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

**汽船釜山出帆廣告**
○門司、神戸、大阪行 立神丸 十一月 日後五時出帆
○小倉丸 十一月 日後五時出帆
○元山、清津、浦潮行 立神丸 十一月 日後十時出帆
○小倉丸 十一月 日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 十月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 十月廿八日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本社取扱店 大池回漕部

**共同汽船仁川出帆**
○芝罘、大連行 第二共同丸 十二月五日正午出港
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店 本町四丁目（電話一七三番） 野口商會
元山代理店 春日町（電話二四〇七番） 田口回漕部
京城取次店 南大門（電話二六八二〇七） 河村運送店

**朝鮮郵船出帆**
本社 電話長一九五二番二三二一番 京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店（電話長一七〇番）
○全羅丸 十二月五日 釜山發
○京畿丸 十二月十一日
○黃海丸 十二月十六日
○咸鏡丸 十二月廿二日
（門司より釜山各港寄港群山間航海）
○穩城丸 十二月四日 元山發
○昌平丸 十二月 日
○鏡城丸 十二月 日
（元山より各港經由雄基行）
○第二錦旗丸 十二月十一日 元山發
○忠清丸 十二月十七日
○平壤丸 十二月廿一日
（城津清津雄基浦潮行復航釜山より門司又は長崎行）
○盛德丸 十二月 日 釜山發（甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行）
○江陵丸 ○襄陽丸 毎日 釜山發 浦項發（長生浦方魚津寄港）
○三浦丸 月 日 釜山發（長承浦、蛇木、巨文島、濟州島各寄港）
○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發（各港經由麗水行）
○順天丸 三日目毎 木浦發（各港經由麗水より釜山行に接續）
○慶興丸 十二月四日 木浦發（各港經由濟州島行西廻）
○慶興丸 十二月 日 木浦發（南多島海列島行月三回）
○公州丸 月 日 木浦發（各港經由濟州島行東廻）
○宗信丸 十二月八日 仁川發（海州他各港經由、德洞又は白翎島行）
○江原丸 十二月七日 仁川發（芝罘、大連靑島行）
○飛水丸 十二月十一日 ○晉州丸 十二月八日 仁川發（各港經由木浦行）
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發（江華島、喬桐島、海州行）

**大阪商船仁川出帆**
○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 安東丸 十二月十六日 濟州丸 十二月六日後五時出 天智丸 十二月十二日
○木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行 信濃川丸 十二月十三日 信濃川丸 十二月卅一日後二時出
○群山、釜山、柳浦行 廣州丸 十二月十七日後二時出
○木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 安東丸 十二月十日 大智丸 十二月五日正午出帆
○鎭南浦、大連行 信濃川丸 十二月八日 信濃川丸 十二月廿六日後二時出
○大連直行 潮州丸 十二月十一日 廣州丸 十二月十八日正午出帆
○鎭南浦大連行 福州丸 月 日正午出帆
○清津、浦潮行（元山出帆） 城津西湖津二寄港浦潮不寄港 安平丸 十二月十五日 宮島丸 十二月十一日後二時出
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 基隆丸 十二月四日午後四時出 淡北丸 十二月十五日午前六時出
御注意 切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二一〇二五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話一〇七〇八番